

男女共同参画推進センターの管理運営費用の見直しに関する市民意見の詳細について

男女共同参画推進センターの管理運営費用の見直しに関して寄せられた市民意見を内容別に分類した詳細は、以下のとおりです。

募集概要

- | | |
|---------|---|
| 1 募集期間 | 平成19年12月13日(木)～平成20年1月11日(金) |
| 2 募集方法 | 説明資料を仙台市ホームページに掲載したほか、エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台、区役所、総合支所、市民センター、男女共同参画課で配布。 |
| 3 提出方法 | 持参、郵送、ファクス、Eメール等。様式不問。 |
| 4 提出意見数 | 488通、1,165件 |

肯定的意見(65件)

(1) 施設の利用状況や役割等について(32件)

- ・ 縮小はやむをえないが、DV、セクハラ対策は充実してほしい。
- ・ 縮小は残念だが仕方がない。DV、セクハラ機能については拡充を望む。
- ・ 縮小はやむをえないが、DV機能を強化してほしい。
- ・ 面積縮小イコール施策後退ではない。例えばDV対応への充実の活用も検討すべきだ。
- ・ 縮小はやむをえない。相談・支援機能の充実とあるが、DVの機能強化を望む。
- ・ 縮小はやむをえない。DV対策などは充実してほしい。
- ・ 相談は市役所内の空スペースなどでも実施できる。
- ・ 縮小は残念だがやむをえない。DV機能の強化を望む。
- ・ エル・ソーラ仙台縮小はやむをえない。DV、セクハラについては地域に安心して相談できるところがほしい。
- ・ 区役所や市民センターを利用することも検討してはどうか。
- ・ 市民活動サポートセンターなどと連携すれば十分。一等地にあるが閑散としている。
- ・ 一部の人だけが使うことのできる施設という感じだ。
- ・ 市民センターを利用してもよいのではないか。
- ・ 市民センターを利用してもらえばよい。両館は決まった人しか利用していないのではないか。
- ・ 本来の目的と違う使われ方をしている部分の縮小はやむをえない。削るもの、拡大するものなどメリハリのある見直しを望む。必要な機能を残しながらフロアを縮小するのは十分理解できる。
- ・ エル・パーク仙台が現状のまま利用できることは歓迎。
- ・ 施設を利用し、無料で好きなだけ自分個人の利益を受けるよりも、市民としては何らかの代価を払って民間施設を利用すべきだ。
- ・ 市民センターを利用すべきだ。
- ・ エル・パーク仙台は左系の人で運営している感じで、市民のための健全な施設なのか疑問である。見直しに賛成。

- ・ 同様の施設二つは無駄であり，縮小に賛成。集会は市民センターを使えばよい。
- ・ 施設の目的には共感するが，自分の周囲に利用している人はいない。
- ・ 見直しに賛成。エル・パーク仙台も効率的に見直してほしい。
- ・ エル・パーク仙台は特定の団体が自分の施設のように使っている。都心部に2館はいらぬ。どちらかを廃止すべき。
- ・ エル・パーク仙台が存続したことは女性の地位向上を考えるものにとってありがたい。
- ・ 区役所や市民センターでフォローしてほしい。
- ・ エル・ソーラ仙台の利用者は，エル・パーク仙台の3分の1であり，場所を知らない人も多い。市民交流スペースは市民センター利用を促進すればよい。
- ・ 研修室縮小賛成。
- ・ 企業利用が多く施設本来の目的からかけ離れた利用実態だ。
- ・ 図書資料ラウンジはせんだいメディアテークと協力を。
- ・ 市民交流スペースと活動ブースは，市民活動サポートセンターが狭いので改築が必要。
- ・ 市民交流スペースは市民センター利用を促進すればよい。
- ・ 市民交流スペースと活動ブースは，市民活動サポートセンターが狭いので改築が必要。

(2) 行財政改革の必要性等について(32件)

- ・ 市の財政状況から4億6千万円の赤字は如何なものか。財政再建への取り組みをもっとアピールするべき。両施設の縮小に賛成だ。
- ・ 男女参画は大事だが，5億で2箇所は必要ない。ネットなどバーチャルも取り入れ1箇所でやるべきだ。育児支援や教育など差し迫った事に税金を使うべきだ。
- ・ 3億円近くの費用には驚きだ。個別相談や職場啓発充実，保育園，児童館，病時保育を働く女性の身になって真剣に改革していくなど，やるべきことは他にあるはず。改革案に賛成。むしろ廃止も含め見直しを加速すべきではないか。
- ・ 5億円ものお金が使われていることに驚いた。福祉の充実を希望する。一等地に2箇所も必要なものなのか。無駄な感じがする。
- ・ 見直しについて賛成だ。高額な家賃を払って入居しているので廃止すべきだ。
- ・ 見直しに大賛成。一等地に高額な家賃を払わなければ参画事業は行えないのか。
- ・ 見直しに大賛成。一等地に高額な家賃を払って入居しているので廃止すべきではないか。
- ・ 見直しに賛同する。一等地に高額な家賃を払って入居しているので廃止すべきだ。
- ・ 見直しに賛同する。アエルに高額な家賃を払って入居しているので廃止してもよいのでは。見直しを積極的に進めてほしい。
- ・ 縮小に賛成だ。5億円は市庁舎建替えや市体育館トイレの更新に使うべきだ。
- ・ 改革案に賛成だ。女性の交流施設は大事だが，2施設に5億円以上使うのはおかしい。育児支援や産婦人科医の増強など，女性にとってもっと切実な問題に金を使ってほしい。
- ・ 男女共同参画事業は，規模を大きくしてまでやるべきこととは思えない。インフラ整備や環境問題，教育費の充実，学校図書館費用など，緊急を要する事業はたくさんある。
- ・ 見直し大賛成。一等地の高い家賃の所でなくても男女共同参画事業はできるのではないか。
- ・ 一部の市民のために，現状で運営し続けることはよくない。節減される経費が広く市民全体に回ることを望む。

- ・ 支出と収入を見た場合一納税者として看過できない。2館自体も費用対効果を考えると無駄である。賃借部分の統廃合も含めて処理し、財政負担の軽減を図ってほしい。
- ・ 財政逼迫しており見直しに賛成。施設の改築や建築等財源に関する事項は、十分な精査をしてほしい。
- ・ 売却して市庁舎を新しくしたほうがいい。
- ・ 見直し賛成。2館はもっと経費のかからない場所に移動すべきだ。市庁舎の建替えや市体育館のトイレの更新にお金を使ってほしい。
- ・ 男女共同参画推進センターは1つで十分であり、財政緊急時には廃止が当然。
- ・ エル・ソーラ仙台は税金の無駄なので廃止し、維持せず民間に貸し出し赤字の埋め合わせにした方がいい。
- ・ 財政が厳しく1館でもよいくらい。限りある財源を有効に活用してほしい。
- ・ 財政状況から縮小すべき。4分の1でよい。既成権益にとらわれてはいけない。
- ・ 行革は避けられない課題で、仙台市全体を見据えるべき。費用対効果が問題。見直しは妥当。
- ・ 税金の無駄遣いをやめてほしい。
- ・ 5億円の経費がかかっており、財政状況を考えて廃止したほうが良い。
- ・ この施設に限らず、財政難の今、見直しをするべき。
- ・ 街中にこうした施設があるのは良いが、財政難であり、2館を維持する必要はない。エル・パーク仙台を残し、家賃が高いエル・ソーラ仙台は廃止。
- ・ 財政から、高額な家賃を払い続けるのはなじまない。見直しを望む。
- ・ 財政事情からはエル・パーク仙台のみで十分。1箇所に統合を。
- ・ 高い家賃を払い都心部に2館はいらない。エル・パーク仙台を充実し、効率的な運営を望む。
- ・ 運営費5億円で驚いた。市民のための施設が市の財政を脅かすようでは、今後の運営の見直しが必要だ。
- ・ 使用料(賃料)が多額で、使用者も限られている。廃止を望む。

(3)「見直し案の考え方に賛成」とのみ記載された意見(1件)

- ・ 積極的に進めてほしい。

否定的意見（770件）

（1）施設の利用状況や役割等について（438件）

施設全体の利用状況や役割について（256件）

- ・ 市民の利用率が高く，男性も子育て中の人も高齢者も集まりやすい施設だ。
- ・ 縮小したら利用者は確実に限られる。
- ・ 打ち合わせや友人の交流の場として，集中して勉強できる場としてなくてはならない場だ。
- ・ 多くの市民が利用している場所である。
- ・ 有効活用されている。縮小しないでほしい。
- ・ エル・ソーラ仙台は市民が活用する場である。
- ・ 安心して相談でき，交流の輪を広げ，人生を変える講座，相談も行われる貴重な場所の縮小は反対だ。現状維持してほしい。
- ・ 社会活動の場として年々利用者が増加している。
- ・ 交通の便や使い勝手がいい場所だ。現状のままで続くことを希望する。
- ・ 駅近くで，様々な機能を備えた施設。男女共同参画後進都市とならないよう現在の活動と施設維持を願う。
- ・ 障害者には市民活動サポートセンターは使いづらい。
- ・ 市民活動に不可欠な場所だ。
- ・ 男女共同参画を牽引するため，男女共同参画推進センターの果たす役割は大きい。
- ・ 縮小に反対。市民だけでなく東北全体の施設だ。
- ・ 市民活動を支え発展させる場として，大きな役割を担い，今はなくてはならないものだ。
- ・ 駅に近いエル・ソーラ仙台はとても利用しやすい施設だ。
- ・ 市民交流スペースやキッズコーナーは大盛況だ。縮小より充実を願う。
- ・ 施策推進には必要不可欠な施設で縮小の再考を願う。市民交流スペースと活動ブースの縮小は，市民団体及び個人の男女共同参画に関する学びや活動の減退につながる。
- ・ 利用率が高く，多くの市民に必要とされている施設だ。
- ・ 利用率が高く，女性だけでなく男性にも，未来を担う子供の成長にも，企業のワークライフバランスにも役立っている。拡大があっても縮小はあり得ない。
- ・ 市民交流スペースがあり，活動ブースがあり，相談が充実し，本がたくさんあり，多くの人が集まり，いろいろな研修が行われている。どれを欠いても男女共同参画実現の拠点としての機能を果たすことはできない。見直し案を撤回し，2館機能を維持しつつ，男女共同参画を推進していくことを市民に約束してほしい。
- ・ 施策推進の拠点施設の大幅縮小は，男女共同参画施策の縮小だ。市民交流スペース，活動ブースを市民活動サポートセンターと統合すると，市民活動サポートセンターの利用団体が増えて市民活動サポートセンターの活動環境が悪化することにならないか。統合よりも拡充，多元化が求められる。
- ・ 機能を保ちながら縮小は詭弁だ。縮小ではなく充実拡大を求める。
- ・ 働く女性たちの労働環境の相談等の場となっている。「場」が縮小されたら，市民活動ができなくなるグループもあると思う。
- ・ 利用頻度が高く，設置目的に適合した使われ方をしており，利用頻度，利用内容ともすばらしいと思った。
- ・ 利用率が高く，市民に待ち望まれ，必要とされる施設だ。

- ・ 企業料金アップ，面積2フロアのままがよい。市民交流スペースや活動ブースは利用も多く，必要不可欠な活動の拠点だ。
- ・ 利用が多く，託児，図書，交流の場もあり市民センターには代えがたい魅力がある。面積が減るとこのような利用ができなくなる。
- ・ 縮小は子供を育てやすい街づくりに逆行する。誰でも利用でき，子育てのノウハウや知識を得られる場であり，少子化を食い止める大切な機関だ。
- ・ エル・パーク仙台，エル・ソーラ仙台は先進的で市民が誇れる施設。エル・ソーラ仙台は交通の便がよく，利用頻度も高い，市民に親しまれている施設だ。
- ・ 利用者にとって行きやすい。市民活動サポートセンターとは根本が違うため代替はできない。
- ・ 機能縮小せずに規模半減は信じられない。削減には反対。これからの社会の課題解決に向け施設の拡充が必要だ。
- ・ 市民交流スペース，キッズコーナーの削減は市民活動に大きな支障をきたすので削減しないでほしい。
- ・ いろいろな活動をするのに半分では無理だと思う。このままにしてほしい。子供が多少騒いでも大丈夫で，相談しやすく，いつ誰が行ってもいい場所だ。
- ・ エル・パーク仙台，エル・ソーラ仙台2館とも重要な市民の活動拠点であり，多くの人が利用している。
- ・ 市民の活動拠点を奪うのは背信行為だ。
- ・ 利用率が高く必要性も高い施設面積の削減はおかしい。他施設への移転は承服できない。利用したい人が増えているから，同じ機能の施設がいくつも必要なのだ。
- ・ 女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で，その存在意義は大きく，男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース，活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。
- ・ 女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で，その存在意義は大きく，男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース，活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。
- ・ 女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で，その存在意義は大きく，男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース，活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。
- ・ 女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で，その存在意義は大きく，男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース，活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。
- ・ 女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で，その存在意義は大きく，男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース，活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。
- ・ 女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で，その存在意義は大きく，男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース，活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。
- ・ 女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で，その存在意義は大きく，男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース，活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。

- ・女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で、その存在意義は大きく、男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース、活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。
- ・女性の社会参加を支援する重要な相談窓口で、その存在意義は大きく、男女共同参画推進の中核施設である。男女共同参画に関する蔵書の閲覧や市民交流スペース、活動ブースなど多くの市民の交流の場となっている。
- ・女性の様々な問題を相談できる唯一の場所だ。女性の相談は即いのち、即生活に関わる。駅のそばであることは重要な立地条件だ。エル・ソーラ仙台の良さは28Fと29Fがあった。母と子に元気をくれる29Fをなくさないでほしい。
- ・フリースペースなど若い人が活動しやすい場所の確保が必要だ。まいた種は必ず育つ。施設を縮小すれば場所の確保が難しくなる。
- ・拠点施設であり、無駄なところはない最小限度のスペースだ。
- ・市民の大切な交流の場、勉強する場を削らないでほしい。
- ・市民に親しまれ画期的に利用者も多い。縮小しないことを切にお願いする。
- ・男女共同参画推進に必要な施設。全体的に非常に利用率が高く、待ち望まれ、必要とされていたことが一目瞭然だ。
- ・機能維持、面積縮小は矛盾する。
- ・学習行動する場として男女共同参画推進センターは絶対必要だ。
- ・両施設はともに男女共同参画に必要であり、今後益々その重要性は増してくる。
- ・多くの年代層の市民が日常的に利用している施設。市民の社会活動を支える仙台市として誇りを持って大切にしてほしい。規模縮小されれば機能も縮小されてしまう。
- ・機能の維持を図り、今までどおり2館が使用できるように願う。
- ・何気なく誰でも来やすいことが何かに繋がる。縮小されたら入りにくい、使いにくい。
- ・多くの市民の交流の場、情報交換の絶好の場となっている。
- ・気軽に利用でき、便利な場所で縮小はとんでもない。
- ・総合的に見て縮小は無理だ。
- ・誰でも自由に安心して利用できる空間が中心部にあることは貴重だ。まだまだ男女格差がある中で、推進する場所をもっと活用する方向で前向きな検討を願いたい。
- ・平等のまちの実現を目指すための拠点でありシンボルだ。
- ・行財政改革は分かるが、なぜ利用率の高い施設に手をつけるのか。
- ・両施設は市の施設中でも重要度の高い施設だ。
- ・利用率が高く、立地とテーマが相乗効果をあげているのに、なぜ縮小なのか。
- ・子育てや家族のためにも、様々な情報があり集まれる場所は大事だ。
- ・市民交流スペースも活動ブースも必要だ。
- ・事務室集約など効率化のための節約は大事だが、必要な場所の削減は賛成できない。
- ・多くの人にとって自由に使える場所がなくなるとは困るものだ。市民活動サポートセンターだけでなくここにもあるから市民活動が盛んになる。
- ・利用率の高い施設をなぜ縮小しようとするのか。
- ・推進センターは、今後益々有効利用されると思う。
- ・ますますDV被害者支援充実が求められている。相談業務、研修室、図書資料ラウンジ等の機能はとりわけ被害当事者には必要なものだ。

- ・ インターネットで手軽に予約でき、駅のそばで集まりやすく、費用も比較的安く助かっている。市民活動の場だからこそ、スペース、費用などを含め市で援助してほしい。
- ・ 利用率も高く、年々利用者も増加している施設が、なぜ行財政改革の対象なのか。
- ・ スペース半減でも機能低下しないというのは乱暴である。市民が個人、グループで自主的に活動する場として評価するべきで、削減は自主的自発的活動を摘み取りかねない。
- ・ 相談機能や図書資料の充実、調査研究等にはなくてはならない施設だ。
- ・ 利用率も高く、年々利用者も増加している施設が、なぜ行財政改革の対象なのか。平等のまち実現のために一層充実することを望む。
- ・ 利用率も高く、年々利用者も増加している施設が、なぜ行財政改革の対象なのか。平等のまち実現のために一層充実することを望む。
- ・ 利用率も高く、年々利用者も増加している施設が、なぜ行財政改革の対象なのか。平等のまち実現のために一層充実することを望む。
- ・ 男女共同参画社会の実現になくてはならない施設だ。施設縮小は事業全体の縮小に繋がりがねない。
- ・ エル・パーク仙台と同様大切な市民の語らいの場だ。
- ・ 男女共同参画の砦である。
- ・ 市民はエル・パーク仙台，エル・ソーラ仙台で学び，市民活動を続ける中でネットワークを組み歩んできた。
- ・ エル・ソーラ仙台は一人ひとりが生きやすくなるための営みの大きな拠点であり，誇るべき場だ。
- ・ 2館体制が定着しつつあるいま，縮小は全く納得できない。
- ・ 男女共同参画推進センターは東北を代表する拠点施設であり，全国のセンターを率いる立場にある。県にセンターがない中，エル・パーク仙台，エル・ソーラ仙台の役割は今後一層大きくなる。スタッフの高い能力は高く評価されており，縮小による職員の削減もあってはならない。
- ・ 全国に誇れる施設が，経済効果を目的とした規模縮小は残念だ。資料閲覧，市民交流スペース，活動ブース，キッズコーナー等の場は，将来必ず社会に還元される。
- ・ 駅近くということで，多くの人が活動の場とすることができる。
- ・ 市外利用者から，駅の近くにセミナーホールがあるので利用しやすいとの声がある。
- ・ 利用も多くこれからも増えると予想されるのに，なぜ縮小なのか。
- ・ 利用率も高く，年々利用者も増加している施設が，なぜ行財政改革の対象なのか。平等のまち実現のために一層充実することを望む。
- ・ 2館体制は全国各地から高く評価されており，それは人を育てることに真剣に取り組んだからだ。人づくりは目に見えてはっきりと言える効果ではないが，2館の効果は大きい。
- ・ 解決すべき問題は山積みで，そのための活動拠点は充実させる必要こそあれ，無駄なスペースなどはない。利用率のいい施設を縮小するのはなぜか。市民活動サポートセンターとの統合は広さ等を調べての提案か，非現実的である。
- ・ 絶対必要不可欠，むしろ拡大充実させる必要がある。
- ・ 市民交流スペース，キッズコーナーから，沢山の元気，希望，叡智が生み出されてきた。2フロア全部が無駄でなく大事な場所である。
- ・ 研修室，図書資料ラウンジ，市民交流スペース，活動ブース，事務室はそれぞれ有機的な関係があり，縮小による質的後退は免れない。
- ・ 市民グループには市民交流スペースは必要であり，なくてはならない活動拠点だ。市民活動サポートセンターには場所も情報もあまりない。

- ・ エル・ソーラ仙台には人が集まり、学びや発見や出会いがあり、とても大切な施設だ。
- ・ 行政の手が届かないところはボランティアでやっており、せめて活動場所の提供をすべきだ。
- ・ 利用者は年々増加し、縮小は論外である。むしろNPO等と連携し文化政策の充実を図る場として、施設を更に開放すべきだ。
- ・ 国の重要課題でもある男女共同参画を推進する基盤であり、全国に誇るべき施設だ。必要とされ、熱望され、やっとできたばかりの施設だ。
- ・ 面積半減では、機能維持の困難は明白だ。
- ・ なぜ年々利用者が増えている施設がリストラの対象なのか。
- ・ 市民交流スペースや活動ブースがなくなったら活動できなくなる団体がたくさんいる。誰もが自由に使える場所が仙台には少ない。
- ・ 男女共同参画推進センターは「男女共同参画のまち・仙台」を実現するためにあるのではないか。
- ・ アクセスがよく公共交通機関の利用が可能な所にある男女共同参画推進センターは誇りで、市民の宝だ。
- ・ エル・ソーラ仙台は今後の仙台市にとって大切な機能を持っている。
- ・ 年々利用者が増えており、駅の近くは集まるのに都合がいい。面積を縮小して機能を充実するというのは矛盾がある。
- ・ エル・ソーラ仙台は大事な拠点だ。
- ・ ジェンダー問題を解決し、男女ともに住みよい仙台をつくるのに不可欠な施設だ。
- ・ 市民活動サポートセンターに同様の機能があるから縮小というなら、文化センターや市民センターの市民活動機能も縮小するのか。
- ・ 今後の高齢化社会に向け、そしてワークライフバランスを実現するため、エル・ソーラ仙台は益々重要になり、縮小ではなく、倍増すべきだ。
- ・ 事務室を減らしたり、企業からお金を取ったり、省エネなど工夫をして経費を切詰めてほしい。そして活動ブースや市民交流スペース、キッズコーナーをそのままにしてほしい。
- ・ 情報提供や相談機能を充実強化していくよう努力してほしい。
- ・ これほど利用率も高く、年1万人以上増えている施設が行財政改革対象となる理由が分からない。
- ・ 男女共同参画推進センターなくしてプランの事業を实践するのは不可能だ。
- ・ 託児付講座に参加し、目が覚める思いがし、心強く思った。女性が長く働けるための講座や子育てに関する講座の場を存続させてほしい。
- ・ エル・ソーラ仙台は大切な拠り所。ここで活動し、学び、出会い、様々な相談にのってほしい。私たちの活動を認め、声を聞いてほしい。市民交流スペースや活動ブースがなくなってしまうのは困る。
- ・ エル・ソーラ仙台は大切な拠り所。ここで活動し、学び、出会いたい。様々な相談にのってほしい。活動の場を狭めないでほしい。交流スペースや活動ブースもなくなっては困る。私たちの活動を認め、声を聞いてほしい。さらに有効な使い方を模索すべきだ。
- ・ エル・ソーラ仙台は男女共同参画推進や市民協働推進にも欠かすことのできない重要な施設だ。
- ・ 現に使っている人や団体は多く、いつもいっぱいである。
- ・ 市民交流スペースや活動ブースも交通至便な所にあるべき機能で、市民活動サポートセンターにもエル・ソーラ仙台にもあるから多くの人が使えし、もっと増やすべきだ。
- ・ エル・パーク仙台もエル・ソーラ仙台も大切な施設だ。両方ともそのままにしてほしい。
- ・ 市民活動サポートセンターでの代替は、そもそも目的が違う施設である。

- ・ 2館体制継続，機能維持，相談支援機能充実，エル・パーク仙台現状維持の4点は賛成だ。しかし施設規模の見直しは反対。機能維持し，相談支援機能を充実させるなら，エル・ソーラ仙台の面積半分では絶対不可能だ。
- ・ 市民交流スペースで打合せをし，分からないことは図書資料ラウンジで調べるなど，便利だ。これが半分になり，キッズコーナーがなくなると困る。
- ・ 子どもを連れた母親が安心して資料を読み，勉強などできるスペースをなくさないでほしい。
- ・ 昼休みにほっとする空間，元気になれる本に出会ったときなど，エル・ソーラ仙台は時々私を励ましてくれた。それが贅沢のように言われるのは残念だ。
- ・ 受験生の利用が，ここをなくす理由になっているのがとても残念だ。自分たちのような受験生の存在は，市には無駄なものではないのか。
- ・ 面積半分で機能は維持できるとする根拠も分からない。
- ・ エル・ソーラ仙台は男女共同参画の拠点施設であり，1億円節約のための規模縮小は男女共同参画推進といえない。
- ・ 市民交流スペースや活動ブースがあってこそそのエル・ソーラ仙台である。
- ・ 市民に必要とされている施設だ。
- ・ 孤独な子育て中，のびすくにも行けなかった。エル・ソーラ仙台で癒された。
- ・ 使用している人がたくさんいる。とても大切な施設だ。
- ・ エル・パーク仙台は当面維持でなく絶対廃止しないでほしい。エル・ソーラ仙台縮小も反対だ。
- ・ 利用者は増加しつつあり，需要もさらに増加が予測される。
- ・ 利用者は増加しつつあり，需要もさらに増加が予測される。男女平等のまち実現のため設置されたエル・ソーラ仙台の充実を切望する。
- ・ 立地場所がいい。
- ・ 施設半減と機能維持は相容れない。
- ・ たくさんのグループが利用し，また行事を持っている。女性だけでなく，男性，子供，学生，老若男女の学びの場となっている。
- ・ 利用者は増加しつつあり，需要もさらに増加が予測される。男女平等のまち実現のため設置されたエル・ソーラ仙台の充実を切望する。
- ・ 市民活動の会議や作業に貴重な場。人が集い刺激や癒しなどの出会いが収穫だった。市民活動が育つために必要である。縮小どころか拡大を望む。
- ・ 駅前という好立地である。利用者が少ないならよいが，利用している人たちが困ると思う。
- ・ 駅に近くとても利用しやすい。仙台は宮城県のリーダーである。市民交流スペースで子供たちを遊ばせながら図書が利用できる所は少ない。
- ・ 市民のための利用施設を縮小させることは本来の設立趣旨とは逆行すると思う。多くの市民がより多く利用できる施設として検討を願う。
- ・ 社会的地位も経済力も持たない人々の活動を後押ししてくれるのがエル・パーク仙台とエル・ソーラ仙台。経済効果は小さいかもしれないが人間力アップへの効果は計り知れないものがあることに気づいてほしい。私たちの生きる力になっている。
- ・ 市民が学ぶ機会を増やすよう施設のPRを。講座や図書で利用し，とても良い所だ。
- ・ 利用者は増加しつつあり，需要もさらに増加が予測される。男女平等のまち実現のため設置されたエル・ソーラ仙台の充実を切望する。

- ・市の施設としては珍しい位，高齢者も若者も学生も男性女性問わず集まり語り合い勉強している。良い環境が整い市民が自由に利用している施設の縮小は理解できない。逆に拡充する方向で検討したほうが，良い施策につながるのではないか。
- ・皆が利用している場所である。
- ・交通の便もよく大変利用しやすい。ゆったりとした気持ちの良い施設。たくさんの人が利用している。
- ・利用者が年々増え，相談件数が増えている。女性がパートナーと共に学ぶ場と機会を削らないでほしい。
- ・開館以来機能を拡大充実させてきたが，女性の置かれている社会的立場から十分とは言えず，一層の推進が求められる。
- ・キッズコーナー，市民交流スペース，図書資料ラウンジ，研修室がどうなるのか不安だ。
- ・29階はオアシス。研修室だけに学習機能があるわけではない。日常の空気と人の交わりの中から元気なまちがつけられる。現状維持を望む。
- ・資料や助言，講演会など男女共同参画に関する情報が集まる核である。県内から様々な助言を求めて訪れる人が多い。牽引役として規模機能の維持を求める。
- ・利便が良く他県からの利用者もいる。DV対策の充実のためにも施設の維持を。
- ・利用率が高く利用者も増加している。全国的にも注目されている施設だ。
- ・多くの人たちが利用しているセンターだ。男女共同参画推進センターであり，他の施設ではだめだ。
- ・男女共同参画の中核であり社会活動を支援し，市民が自由に交流できる施設。こうした場があることが困難に悩む人には安心感になる。社会活動団体が一般市民と交流を持ち協働していくため不可欠な施設だ。
- ・駅前にあるエル・ソーラ仙台だから，短期間に市民活動の成果を上げることができた。明るく開放的な施設は，悩みのある来訪者たちの気持ちを楽にしてくれる。
- ・親同士が助け合って子育てできる社会の実現にエル・ソーラ仙台は欠かせない。ふらりと気軽に立ち寄れる場所であることが大切だ。
- ・駅のすぐそばなので用事のついでに立ち寄ることができた。不便で分かりにくい場所だったら行けない。
- ・利用者は増加しつつあり，需要もさらに増加が予測される。男女平等のまち実現のため設置されたエル・ソーラ仙台の充実を望む。
- ・利用者は増加しつつあり，需要もさらに増加が予測される。男女平等のまち実現のため設置されたエル・ソーラ仙台の充実を望む。
- ・利用者は増加しつつあり，需要もさらに増加が予測される。男女平等のまち実現のため設置されたエル・ソーラ仙台の充実を望む。
- ・集う場が少ない中，縮小には反対だ。
- ・市民活動を通して市民が育つことはまちづくりに大切なことで，エル・ソーラ仙台はその拠点。いろいろなスペースが並んでおり同じフロアで過ごせるのが良い。これから社会を担う人たちのためにもエル・ソーラ仙台をこのまま残し，男女共同参画の誇れるまち仙台を市民協働でつくりたい。
- ・様々な勉強会活動，蔵書を利用した学習，相談など，これまでエル・ソーラ仙台を利用してきて感謝している。一度縮小したら大きくすることは困難。全国に先駆ける仙台市として，市民からアイデアを募り共にやっぺいこう。

- ・ 公営の市民利用スペースが縮小傾向にある。仙台駅にもっとも近い一等地に市民が自由に使えるスペースがあればそこで仙台をアピールする活動が生まれる。
- ・ 利用者も年々増加傾向にあり不要な施設ではないし、民間ではできない事業。P F I や P P P にも向かない。エル・ソーラ仙台，エル・パーク仙台以外に市民が交流するスペースはない。市民センターもあるが，仙台駅前の立地条件は市民に重要だ。市民活動サポートセンターは小さなグループの活動には不十分，また幼児が遊べる場もなく，女性グループの活動には不便である。
- ・ 女性問題の講演や活動の拠点。男女平等といいながらも男性中心の社会の中，そこにいけば何かあったときに力になってくれる，相談にのってもらえる安心感がある。
- ・ 市民活動，女性の自立支援の核となる施設だ。
- ・ エル・ソーラ仙台で培った人材が将来有形無形の財産を産み，シティセールスにもなる。
- ・ N P O はもとより仙台を元気ある街にと希望する市民団体や個人が情報を発信・収集・共有でき，その思いを持つ人を育て，結びつける場所。実際多くの人が利用している。縮小は人々の気持ちを減退させ，仙台市の魅力を低下させる。
- ・ 駅に近い。子育てしながらの女性にとって貴重な場所。利用する人も増えている。これほどすばらしい施設はない。
- ・ 相談機能以外にコーディネート機能を充実させる必要があり，事務室の集約より再配置，分化が必要と感じる。
- ・ 高い稼働率を示している。これからの男女の生き方，子育て，社会とのつながりなどの幅広い課題である「ワークライフバランス」を考える拠点として市民や企業から期待されている施設。県内他市町村にとっても心強く，全国的にも評価が高い。シティセールスにつながるのではないか。
- ・ 仙台駅に近くとても便利なおところにある。青葉区の人だけでなく，全県の女性に利用しやすい。男女平等社会にはなっておらず，センターの役割はとても重要だ。
- ・ 市民が使いたくても使えない状況を理解していない。むしろ使いやすい状況を整えるべきだ。
- ・ エル・ソーラ仙台とエル・パーク仙台は別の役割を担うもので，今回の運営費削減がエル・ソーラ仙台に大きくかかっていることに納得いかない。
- ・ 市民交流スペースや図書資料ラウンジをこのまま存続してほしい。フリースペースがあり老若男女が気軽に利用できることの意味は大きい。
- ・ 利用者数は増えている。
- ・ 条例に基づき様々な事業を実施している拠点である。例えば男女共同参画推進センターにおいても子育て支援をすべきだ。
- ・ 予約もいらず，誰でも自由に使える場所。子育てしやすいまち，女性が自分を押し殺さなくても暮らしやすいまちのために重要なスペース。
- ・ 施設が果たしてきた役割や施設を使って展開してきた市民活動をどう評価するのか。とても便利なおところにあり子連れでも高齢者，学生，働く人，あらゆる人が利用しやすい。居住地，利用の目的，年齢性別，国籍など様々な属性の人が集まり，街づくりに必要な大きなエネルギーとなる。
- ・ 子どもの賑やかさも大人の打ち合わせも一緒に空間が共有できる。互いが思いやれるスペース。
- ・ 半分にして機能が果たせるとは思えない。
- ・ 図書資料ラウンジと市民交流スペースは仙台駅から近く，環境もよく勉学に，また心の憩いの場として自分の生活に欠かせない場だ。規模縮小は，機能縮小そのものであり仙台市の社会活動活性化を妨げる。

- ・ 出会いと交流の場である。これだけ多くの利用者がいるのに、市では男女共同参画を広げるチャンスだと気づかないのか。採用説明会等の企業利用が多いが、その企業説明会に出る世代の学生は市民交流スペースや図書を利用して調べ物をしている。
- ・ 相談機能や情報提供機能を縮小しないで施設だけを小さくすることは本当に可能なのか。
- ・ 女性相談室に行くときも、時間が早いときは上の図書コーナーを利用している。相談室だけでは息が詰まる。
- ・ 実際に利用者が多いことを評価するべきだ。
- ・ エル・ソーラ仙台のフリースペースは実際に17万人の利用がある。
- ・ 自習やレポート作成に役立つスペースが必要だ。
- ・ 女性のための学習施設である。
- ・ センターの活動内容は素晴らしく他にこのようなところはない。今まで通りの規模で活動してほしい。
- ・ 仙台の取り組みは東北のモデルでもある。これまで以上に市民活動の活性化の拠点となってほしい。
- ・ 利用者も利用率も上昇している施設をなぜ縮小しなければならないか。広い意味で人材育成の場が、効率性、収益の観点から検証というのは的外れ。拡充こそが望まれる施設だ。市民活動サポートセンターには市民活動サポートセンターの目的があり軽々には一緒にできない。
- ・ 若者や企業人が訪れるスペースの削減は理念を伝える機会を奪い、社会の動向に逆行する。のびすく仙台とエル・ソーラ仙台を結び、連携していきたいと努力しているところだが縮小案とは残念だ。エル・ソーラ仙台はこれからの施設。市民に愛され、全国が注目する施設。市外県外の人から「景色もよく利便性もいい、こういう男女共同参画推進センターを設置する仙台市は素晴らしい」と評価される。
- ・ ボランティアグループの定例会で利用。使用料がかからず集まりやすい場所にあるエル・ソーラ仙台は市民活動を支えてくれる。交通費や活動費を自己負担しており、会場費まで集められない。
- ・ 市民活動の場を縮小するのは反対である。社会の中で弱い立場にあり、支援を受けたくても簡単には行きにくいDVや母子家庭の人が、再就職に向け一歩踏み出す機会をつくったり相談を受けられる貴重な場所。ようやく対象者たちに認知されてきた。
- ・ 例えば文学館はすいているがエル・ソーラ仙台は混んでいる。
- ・ 昼休みや勤務時間後にも利用できる場所。もっと積極的にPRするべきだ。
- ・ 市民活動の場がまだまだ少ないので、市民交流スペースや研修室をなくさないでほしい。
- ・ 多くの市民が使っている施設をなぜ半分にするのか。エル・パーク仙台も当面維持でなくできるだけ長く存続を。
- ・ エル・ソーラ仙台は私たちの大事な活動拠点。市内どこからでも通え、皆が集まり、語り、学び、気づき、成長する場所だ。
- ・ 様々な人が出入りし、活用できるスペースがあるから意味がある。
- ・ 多くの人たちに活用され年々利用者を増やしている。都心の便利な所に市民が自由に使える場所があることは無駄なのか。
- ・ 十分なスペースのおかげで市民活動団体が活動を続けていられる。スペースの縮小は活動の縮小につながる。
- ・ 非常に利用者の多い施設だ。
- ・ いつもいっぱい利用者は苦労している。
- ・ 市民に愛され活用されている重要な施設だ。

- ・ 市民活動や人材育成はエル・パーク仙台，エル・ソーラ仙台的二つの拠点施設なしには考えられない。場があったからこそ，活動し，若い世代につなげることができた。
- ・ 利用者は増えている。企業利用を制限すれば市民利用がもっとのびる。今は使いたくても使えないほどの人気だ。削減の必要はない。
- ・ 市内のどこからでも誰でもいつでも気軽に立ち寄り，すぐに利用できる。活動ブース，市民交流スペース，キッズコーナーは大事なスペース。子連れも気兼ねがいらぬ。のびすく仙台が複数整備されればいいわけではない。母親たちにも色々な悩みや要望がある。
- ・ エル・ソーラ仙台は必要な施設で，他の場所にも作る必要はあっても，削減などできない。
- ・ 団塊の世代が定年を迎え，駅に近いエル・ソーラ仙台を拠点として活動する人が増えるのに縮小とは時代に逆行する。大都市にはこのようなスペースが確保されている。
- ・ 機能はそのままスペースは縮小とは納得できない論理。28階・29階とも市民のニーズに答えている。駅のすぐ近くにあり，市外の人も利用できる。若い男性の利用者も増えている。相談や自立支援，子育て支援の場であることをPRし，さらに有効活用する努力が必要だ。「動」のエル・パーク仙台に対しエル・ソーラ仙台の役割は「静」である。図書と相談は施設の中心的存在。明るいいこの場所だから苦しみ，悲しみを持ってこれる。今後役割はさらに重要となる。
- ・ 交通のアクセスがよく老若男女，数多くの市民が利用している。講座や図書室，DVなどの相談もしている。
- ・ みんなの願いを託されてできた施設。需要も増えている。のびすく仙台は利用者増により拡大，エル・ソーラ仙台は需要が増えても縮小とはおかしい。
- ・ 利便性があり，認知されている。国内外からも評価され，仙台の誇りである。
- ・ 研修室，市民交流スペースはいっぱいであるのに，財政と空間を縮小してこれまでどおりの活動が維持できる根拠はどこにあるのか。全国的にも注目を集める施設だ。
- ・ 立地が良く，男女共同参画に出会う啓発の場である。
- ・ スペースの縮小は活動の縮小になる。移転や拡充を考えるべきだ。
- ・ 仙台市の男女共同参画推進にとって重要な施設。規模縮小は時代に逆行する。
- ・ 規模縮小は機能縮小になる。私たちの社会活動，社会参加の妨げになることはしないでほしい。
- ・ 様々なイベント，相談，資料の調査と幅広く利用されているが，高齢者，団塊世代，弱者の窓口がいつの間にか置き去りになる気がする。バス，鉄道など利便性のよい好適地の所はもうない。
- ・ 男女共同参画推進センターに賛同しイベントに参加したり図書を利用している。駅近くで便利。
- ・ 市民が抱える問題の相談に乗り支援するほか，市民の力を社会に還元して新しい文化を発展創造させようとする施設だ。
- ・ 2施設は縮小せず，現状での存続を求める。交通の便がよく利用しやすい施設である。
- ・ 施設がフルに活用されていることは仙台市の活性化にもなる。
- ・ エル・パーク仙台，エル・ソーラ仙台は全国に誇れる施設である。同じ場所にいろいろな施設があるから利用できる。市民交流スペースと活動ブースについて，市民活動サポートセンターへの移転に疑問。同じ場所にいろいろな機能があるから利用しやすいが，分散しては活動できなくなる。
- ・ 素晴らしい場所で素晴らしい女性が育つ。仙台が誇れるものの一つ。公共のセンターは心を大きく育てる役目も担っている。
- ・ 仙台の団体がエル・ソーラ仙台において，大阪の女性グループの活動を紹介した。施設の活用により地域を越えたグループのつながりが継続でき発展できる。

- ・ 仙台市の男女共同参画の中核施設で利用率も高い。老若男女が学習しながら市街を見渡せる施設が一等地にあることは都市のグレードの高さを示しイメージアップになる。
- ・ 仙台駅に近く女性のセンターとして利用している。もっと大きい部屋がほしいくらいで縮小などともない。女性センターとして誇りに思う活動を実施している。市でもっと支援するべきだ。
- ・ 駅前のエル・ソーラ仙台を知り進んだ行政の街と感心した。気軽に立ち寄れる 29 階にキッズコーナー、市民交流スペースがあり男女共同参画に関するものを集めた図書資料ラウンジがある。このような場所こそが市民へのサービスであり発展する仙台であると思う。
- ・ エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台は仙台市民の生活の質を向上させるために大きな役割を担っている。多くの市民がそれぞれの目的で生き活きと利用している。
- ・ 公共交通に近く、無料で多くの市民が有効に利用している。
- ・ 男女共同参画推進センターは、東北地方のみならず全国に発信する役割を担う重要な拠点施設だ。
- ・ 県内各地の男女共同参画推進に関わる人たちにとって、エル・ソーラ仙台の存在は大切であり拠り所でもある。
- ・ こんなに利用率の高い施設を縮小しなければならないほど、財政は逼迫しているのか。
- ・ 図書、市民交流スペース、キッズコーナー、活動ブースが併設されていることで、多くの市民が自由に交流し、自分に適した情報を得ることができる。
- ・ とても利用されている施設スペースなのに、半分にすることが理解できない。
- ・ 様々な年代層が利用。子育てボランティアが活躍している。今のエル・ソーラ仙台の利用のされ方こそが、男女共同参画推進拠点としての利用だ。男女共同参画の理念と実践の浸透には時間も必要で、できて間もない施設の縮小はすべきでない。
- ・ 男女共同参画推進センターは、男女共同参画を推進するための施設だ。
- ・ 企業の利用者が男女共同参画のパンフレットやパネルに接することができるような場所は他にない。拡大するべきである。
- ・ 必要な機能をそぎ落としたら施設の目的を達成できないし、今でも人気が高く利用が大変だ。
- ・ 地域における男女共同参画を推進する拠点である。規模縮小によりサービスが低下してしまう。
- ・ 市民に認知されてきている。
- ・ 男女が能力を発揮し個性豊かに生きるため拠点が必要だ。研修、図書情報による学び、市民交流などさまざまな機能が有機的に連携して功を奏し、市民の意識が高まる。
- ・ 机といすを増やし、市民に男女共同参画推進センターを知る人が多くなるようにもっと使いやすくしてほしい。
- ・ 男女が力を合わせて生活する社会をつくる支援をし、方向付けをしていく所だ。

図書資料ラウンジについて（34 件）

- ・ 図書資料ラウンジは市民が勉強し情報を取得する場として重要だ。
- ・ 自習スペースがなくなると学力低下につながると思う。
- ・ 冊数を維持しながら規模縮小は不可能だ。
- ・ 男女共同参画についての講座の後に図書を借りたりしている。
- ・ 駅前にこれだけの図書設備があることは市民にとってありがたい。
- ・ 市民図書館とネットワークをつなげてほしい。
- ・ 男女共同参画関連図書が充実していることが貴重だ。
- ・ 読みやすいスペースを確保してほしい。

- ・ 本や資料はもっと増やすべきだ。
- ・ 被害者が本を読み、癒しと力を得るスペースだ。
- ・ 現在の規模を確保し、更に資料の充実を図ってほしい。
- ・ 図書、資料の増加が見込まれていない。読書や調査ができる空間が必要。ここでなければ読めない人への考慮も必要だ。
- ・ 受験勉強でも視界の片隅に男女共同参画が入ることは若い人にプラスだ。また、周囲に気兼ねせず資料が読める。
- ・ 図書資料ラウンジのスペースが小さくなり、蔵書が減らされる可能性がある。
- ・ 図書資料ラウンジを縮小したら、図書を見やすく、探しやすく配置し、閲覧スペースを確保するのは無理、拡張してほしいくらいである。
- ・ 今はどこも時間が決められ静かに勉強できる場所がない。いろいろな本が置いてありいい所。図書の部屋を小さくしないでほしい。
- ・ 図書資料はどんどん増えるもので縮小は無理だ。
- ・ 本を読み活用している。
- ・ 現在のスペースの維持を。
- ・ 図書も充実している。
- ・ 立地条件のいい所で蔵書数も内容も良い出版物を提供。遅い時間まで学べる。
- ・ ゆったりしたスペースで本を選べる。
- ・ 蔵書が豊富で女性問題、家族、仕事など勉強することができた。
- ・ 女性問題、ジェンダー論に関する資料を集中して蔵書する機関は他になく、蔵書、情報発信力は他図書館を上回る。大学でもこうした蔵書はない。これを縮小することは、仙台市民が情報を得る場を奪うものだ。
- ・ 図書が充実している。縮小となればゆっくりと本を読んだり調べものをしたりできなくなる。
- ・ 縮小して書庫のようにするのか。市民交流スペースとあわせた広い空間こそが魅力なのに。
- ・ 余裕は今後も蔵書を増やすためと思っていた。半分になると現在の蔵書数の維持のみになる。他の図書館にない本や資料を今後も充実させるなら、規模縮小はできない。整備当初の蔵書計画と今後の購入の見通し(どの分野に力を入れるか)を説明すべきだ。
- ・ 自習机をなくさないでほしい。ここで勉強して大学生となり今も図書を借りてレポートを書いている。
- ・ 開館当初、学生の勉強スペースとして占領されてしまうほど若い人が利用する施設になり、男女共同参画が次世代に引きつがれる可能性を感じ喜んだ。
- ・ 他の図書館にない本、暮らしにつながる本が多い。小さい子ども母親と一緒に楽しそうに読んでいた。せまくしたら本が増やせなくなる。多少は仕方ないが、半分にするのはやめてほしい。
- ・ ピックアップコーナーはつい手にとって見てしまう本がおいてある。図書スペースが半分になったらこういうコーナーはなくなるのか。図書資料ラウンジを狭くしないでほしい。
- ・ 図書や市民交流スペースが削減という説明にがっかりしている。DVについて書かれた本があると勧められて利用した。
- ・ 充分考えて配置してあるはず。本も増えるので縮小不可能だ。
- ・ 資料提供機能のみではない。利用者が資料と出逢い、読むプライバシーを守る空間も必要だ。

市民交流スペースについて（35件）

- ・ 情報を得、景色を楽しんでいる。
- ・ 市の中心に無料で憩い・語り合う場があることは市民の誇り。縮小でなく、今のまま存続を強く願う。
- ・ 市民交流スペースの規模縮小に反対だ。駅に近く、広く明るい室内公園として存続することを要望する。
- ・ 講座の後、参加者同士で話し合ったりしている。
- ・ 利用頻度は非常に高く、市民に親しまれ利用されている。
- ・ いつも市民交流スペースで打ち合わせをしているが、たくさんの利用者がいる。市民活動に大きな支障をきたすので削減しないでほしい。
- ・ 市民交流スペースは自由な空間で、市民グループ活動に若者が参加しやすい。
- ・ 市民交流スペースは創造と交流の場であり、駅前にあり市民が集い男女共同参画を進めるための市民活動を行う場だ。
- ・ いろいろな人にとって、自由に使える施設は必要だ。
- ・ 利用者は乳幼児を連れた母親たちが多く。市民交流スペースが若い母たちが集まり交流する場として、集まりやすい条件を備えているか考えてみてほしい。
- ・ 利用者数を見ても市民活動サポートセンターと一緒に無理がある。
- ・ わずかな会費で運営しているグループにとって市民交流スペースは必要であり、なくてはならない活動拠点だ。
- ・ ときには弁当を広げて時間を節約しながら話し合いができる。
- ・ 市民交流スペース利用者は年間17万人にもなる。市民交流スペースの削減に断固反対だ。
- ・ 市民活動サポートセンターでは肩代わりできない。
- ・ 市民交流スペースでの様々なグループを見ているとそこから市民活動が始まっているのが分かる。
- ・ 市民交流スペースにどれだけ人が集まり憩いの場となっているかを知っているか。
- ・ 市民交流スペースを広げ、机を増やしてほしい。
- ・ 市民活動サポートセンターは広く浅く支援するところ、エル・ソーラ仙台は重要分野に特化した交流と連携の場。場のコーディネーターが不在で機能していない部分がある。職員配置やNPO委託なども考えて拡充を図るべきだ。
- ・ 市民交流スペースは男女共同参画の裾野を広げる意味でとても大切だ。
- ・ いつも大勢の人が交流しており、スペースが足りないほどだ。
- ・ これまで女性グループの多くはエル・パーク仙台を拠点とし、成長した。指定管理者となって公共を担う団体も出ている。現在市民交流スペースの利用者も、将来公共を担う可能性を秘めている。
- ・ 無料でミーティングが開ける場所。テーブルの幅が狭くなっても席数は維持してほしい。
- ・ 周りで活動する人たちの様子に触れるうち、子育て支援グループを立ち上げた。
- ・ 色々なチラシが置かれている。DV防止活動をしているグループがあることがわかった。自分にとって、安心できる場所だ。
- ・ 主婦の仲間と市民グループを作りボランティア活動をしている。予算がなく、他施設は借りられない。フリー・スペースは市民にとって必要。もっと多くほしい。
- ・ 他にはない素晴らしいもの。空きを探すのが大変だ。
- ・ テーブルやいすはいつも満席だ。
- ・ 常にいっぱいである。

- ・ 出会いとにぎわいの場は気づきの場，絶好のPRの機会である。休憩やおしゃべりの無駄スペースではなく，おしつけがましくなく男女共同参画に出会う啓発の場である。気づきが活動に発展するには時間がかかる。
- ・ 年間 17 万人の人が利用し年々増加している。
- ・ 市民交流スペースもいつも利用している人がいて席がないときもある。公共交通で行きやすいのでみんなの交流の場となっている。
- ・ 市民交流スペースはなるべく縮小しないでほしい。市民活動サポートセンターは目立たず，多くの市民が困ると思う。
- ・ ゆったりして使いやすく初めて利用したときはさすが仙台市，と感動した。
- ・ 市民交流スペースをもっと広くして椅子と机を置いてほしい。

キッズコーナーについて（10 件）

- ・ キッズコーナーがあるから利用できるメンバーもいる。市民活動に大きな支障をきたすので削減しないでほしい。
- ・ 子連れの母同士が交流できる。
- ・ 子供コーナーでいろいろ子育て相談をしてもらい心が軽くなったことがあった。子供コーナーがなくなると聞き心配だ。親も交流し，子どもを安心して遊ばせることができる小さな空間を無くさないでほしい。
- ・ ここで子育ての楽しさを知ることができた，子供と気軽に来れるエル・ソーラ仙台をこのまま利用できるようにしてほしい。子供が3歳以上だとのびすく仙台は使いづらい。
- ・ キッズコーナーでボランティアをしていて「引っ越してきたばかりで親子で遊べる場所を探して来た，里帰り出産で帰省中に友人と待ち合わせ，再就職を考え図書を利用，親子二人で誰とも話をしない日が続いた，ここにくるとゆったりできる。」などの声を聞いている。市民活動サポートセンターに移すことは不可能。壁紙，ソファのメンテナンスをしてほしい。警備員がいて安心だ。
- ・ キッズコーナーは市民協働で検討した。それが急になくなるのか。
- ・ 子どもと母や父がくつろげるスペースがある。特に父が子どもと来やすい。
- ・ 他の図書館のようにギスギスした雰囲気がないのはキッズコーナーがあることも一因。若い母親は，マンションで母子二人きりでは気が重くなりよく訪れると話していた。
- ・ 親子連れでにぎわっている。
- ・ 買い物で子供が飽きた時に利用。県外の友人にも紹介したら仙台はいい所と言われた。仙台のPRになる。

活動ブースについて（16 件）

- ・ 機械的な分割は，活動の低下をもたらすのではないか。
- ・ 活動ブースは，男女共同参画社会の構築に向けた市民活動を応援するインキュベーションスペース。入居期間に大きく成長し，NPO法人を取得，公共施設の運営を行っている。
- ・ 市民活動サポートセンターへの移行は反対だ。
- ・ 活動ブース入居3年間の間にしっかりと育て地域貢献できる団体となることを目標としてきた。活動の成長にはこの場所の力によるものも大きい。
- ・ エル・ソーラ仙台において，活動ブース利用団体の活動が継続できるよう望む。

- ・市では活動ブース利用団体の活動を知っているのか。活動ブースを移行する予定の市民活動サポートセンターは環境が違いすぎる。エル・ソーラ仙台だから人が集まれる、活動ができる。
- ・エル・ソーラ仙台で活動ブース利用団体の活動に参加し、前向きに考えることができるようになった。活動ブース利用団体のエル・ソーラ仙台の活動継続を切に願う。
- ・活動ブースは3年の期限付きだがここでたくさんの個人や団体と交流する中で得るものは計り知れない。
- ・活動ブース利用団体として相談支援事業を実施しておりエル・ソーラ仙台の機能の一端を担う市民活動と自負している。
- ・エル・ソーラ仙台の場所が欠かせない。自分たちの活動がここまで広がったのもエル・ソーラ仙台だからだ。3年間の約束を違えぬよう願う。
- ・活動ブース利用団体のエル・ソーラ仙台での活動継続をお願いする。
- ・市民活動サポートセンターへの統合は市民活動を抑制したいと考えているとしか思えない。
- ・市民交流スペースの場のコーディネートの中核となる団体に入居させて活用を図り、さらに進んだ市民参加のモデルケースとする。
- ・活動ブースがなくなったらどこへ行けばいいのか。市民活動サポートセンターもいっばいだし、それに本来目的も違うはずだ。
- ・活動ブースは本来、男女共同参画の体現としてエル・パーク仙台市民活動スペースの横にあるべき。これを市民活動サポートセンターに移すのか。活動ブース利用団体は男女共同参画を様々な切り口から捉え、地域で積極的に活動している。その拠点を奪うことになる。市民活動サポートセンターの確保はしていないのか。面積を半分にして、男女共同参画推進センターとして同じように機能するはずがない。
- ・高齢社会に適応するため、高齢者自身が発案し創造する活動が必要。市民活動を仙台から全国に発信したい。これまでエル・ソーラ仙台の活動ブースをベースキャンプとして夢を育むために活動している。その実績は全国コンクールでも認められた。

研修室について（57件）

- ・企業利用を許可しているのに、企業利用が施設目的にあわないとして廃止理由にするのが理解できない。いきなり廃止ではなく、目的に沿う利用を促すなどの周知をするべき。研修室は男女共同参画に関する講座実施場所にもなっている。
- ・PR活動により、事業所における男女共同参画推進に役立ち、また利用料の増収にも繋がる。
- ・企業利用が多いのなら、企業利用を制限し市民が使いやすいように工夫すればいいし、企業利用も男女共同参画やエンパワメントに繋がることもある。
- ・便利な所にある施設で、企業利用が多いのはどこも共通の課題であり、市民利用を優先できない市のシステムこそが問題だ。
- ・研修室は利用したくてもなかなかとれない。企業利用を減らしたいなら、市民利用を優先させるシステムをつくるべきであり、企業が利用しているからという理由で縮小はおかしい。
- ・企業が多いというが、使用料をアップし収支を良くすればよい。
- ・利用頻度は非常に高く、市民に親しまれ利用されている。見直しを行うとすれば、会議室の営利使用料をもっと高くしてもよいのではないか。
- ・規模がちょうどよく時間帯が選べ、使いやすい。空きがなく、利用したくてもできないことがある。企業料金を高くする、空きがあるときに貸すなどの方法を考えてはどうか。

- ・ 借りるのにとっても厳しい状況だ。
- ・ 企業利用が多いのは共通の課題。市民利用優先ができないのは、市のシステムが問題だ。
- ・ 仙台市は貸し室自体が少ない。もっとNPOが借りやすくとか、周知宣伝を図るといった工夫が必要だ。
- ・ 利用者が増加し借りられない状況だ。
- ・ 利用率が高く予約が大変な状況だ。
- ・ 今でも利用申込が大変なのに、半減すれば、更に使いにくくなる。
- ・ エル・ソーラ仙台とエル・パーク仙台両館の室の企業利用状況は単純には比較できない。
- ・ 予約がとれずに困っている。
- ・ 企業利用が高ければ、企業の男女共同参画意識もあがる。
- ・ 企業利用規制は、規則を作って規制すればよい。
- ・ 使ってダメなら禁止し、かまわないなら案のような高い使用料を徴収すればいい。
- ・ 被害者の安全確保からも削減は認められない。むしろ会場確保できる体制を望む。
- ・ 80パーセントで利用度が低いのか疑問。予約を取るのに苦労している。企業は重要な社会構成員である。企業活動内容の調査、分析を示すべき。また、企業にアンケートをとり実態と声を集約すべきだ。
- ・ 女性学講座、再就職のための就業支援講座など学びたい女性たちへの学習機会の提供が必要だ。
- ・ 料金設定は検討する余地あり。
- ・ 企業利用が多いなら規則を作って制限すればいい。
- ・ 利用率が高い研修室を廃止する理由が不明だ。
- ・ 男女共同参画に関する講座を実施する研修室が必要。企業利用の際は多く使用料を徴収してはどうか。
- ・ 会社の人々が研修等に参加するためにも、中心部にある程度の規模の施設があることは大切だ。市民と企業の料金は同じ必要はなく、高くしてもいい。
- ・ 企業利用が多いのなら貸さなければいい。しかし、企業も市民の一員、企業の理解と協力なくては男女共同参画も実現できない。
- ・ 研修室の企業利用が多いのは、便利な所にあり、システムが市民や企業の区別なく申し込みができ、同じ料金であるためだ。これは市がそう決めているからであり、それを直すのは市自らの責任だ。
- ・ 研修室にはある程度の規模が必要だ。
- ・ 使いたくても空きがない。使いやすく拡充してほしい。
- ・ 予約が大変。縮小に伴いさらに利用しにくくなるのでは。
- ・ 予約が入っていて利用できない。他施設を使ったり、日程変更など工夫している。
- ・ 企業でも会議室のない中小企業もある。
- ・ 現在の研修室スペースの維持を。
- ・ 市民活動に活用されていることを知っているのか。
- ・ 仕事の勉強会会場として活用している。
- ・ 設備が充実して各種研修に不可欠だ。
- ・ 研修室の数を増やして企業も市民グループも利用しやすくしてほしい。
- ・ 企業が使っているから相対的に男女共同参画が目立たないだけで規模を縮小しても同じこと。現在の規模は最小限。縮小すると分科会が開けないなど機能が落ちる。
- ・ 市民が使いたくても使えない状況を理解していない。むしろ使いやすい状況を整えるべきだ。

- ・ 男女共同参画事業に多く利用されているが、その上で空きがあれば、利便性が良いのだから、企業が入るのは当然。研修室が縮小されれば男女共同参画推進事業の実施が困難になる。研修室に来た人に対する、掲示物による啓発効果もあり、企業利用が本来目的に反するとはいえない。
- ・ 企業利用が多いのをチャンスとし、研修や資料を活用して男女共同参画への理解を深めるよう、利用の際にいろいろ伝えればよい。
- ・ 採用説明会等の企業利用が多いが、その企業説明会に出る世代の学生は市民交流スペースや図書資料ラウンジを利用して調べ物をしている。
- ・ 予約でいっぱいのごとが多く、借りられないため市民交流スペースを利用している。
- ・ 企業が多く利用していることを問題視しているが、来館して掲示や資料をみてもらい施設の理念等を伝えることができる。男女共同参画社会実現にはワークライフバランス、働き方の意識変革が必要だ。
- ・ 企業利用がいけないなら施設のほうで断りを入れればいいので、削減根拠にはならない。
- ・ 企業利用を認めているのは市である。企業割合の多さが問題なら制度を改めるべき。縮小してはさらに市民が利用できず本末転倒だ。
- ・ 稼働率は十分である。
- ・ 予約が難しい。
- ・ 駅前にあれば企業利用が多いことは最初から予測できた。企業利用を活用し、働くことをテーマに男女共同参画推進を促す好機である。また、企業料金を上げるより、市民活動を減免するべきだ。
- ・ 早く予約しないと埋まっており、多くの市民・団体に利用されている。
- ・ 数を減らすと使えない団体が増え、不便な場所になってしまう。利用料の値上げをしてはどうか。
- ・ 研修室を使い、男女共同参画に関する映画上映会が実施できるなど、素晴らしい場所だ。
- ・ 研修室はいつも空いていない状態であり、もっと拡充してほしい。
- ・ 企業利用を遠慮してもらい、余計に料金を払ってもらえば収入増になる。
- ・ 満杯で借りられない。

相談について（20件）

- ・ 安心して様々な相談ができる。
- ・ 女性の様々な問題を相談できる唯一の場所だ。女性の相談は即いのち、即生活に関わる。駅の近くであることは重要な立地条件だ。
- ・ 縮小で安全やプライバシー確保ができるか心配だ。
- ・ エル・ソーラ仙台のおかげで人生をやり直し感謝している。助けられる人がこれからもたくさんいる。費用負担は大きいと思うが維持してほしい。
- ・ 相談コーナーのプライバシーや相談者の安全を守る上でも、エル・ソーラ仙台のスペースは決して広くない。
- ・ 相談室の安全管理がとても重要、相談業務の一層の充実を望む。
- ・ 面積半減は、相談機能の縮小に繋がる可能性がある。
- ・ 女性の相談窓口もありいろいろな面で支援を受けられる。
- ・ 相談は少子化の歯止めのひとつとなる。
- ・ 相談は安心な環境でできるのか。対案が見えず不安だ。
- ・ 友人の悩みを相談に行き一緒に考え解決した。感謝の気持ちでいっぱいだ。

- ・ 女性相談室に行くときも，時間が早いときは上の図書コーナーを利用している。相談室だけでは息がつかまる。
- ・ 相談したいことがあってもなかなか窓口がない人にとって，エル・ソーラ仙台の相談窓口は貴重な希望への道だ。
- ・ 今のような入り口だと視線が遮られており，安心していきやすい。このままを望む。
- ・ 相談しやすい。住まいの近くでは相談も気が重いが，エル・ソーラ仙台は相談に来たような顔をせずに立ち寄れる。
- ・ 相談を受けるまでDV被害者であると理解できなかった。自分のような境遇の人を救ってくれるエル・ソーラ仙台は必要だ。
- ・ 相談件数が増えている。
- ・ 弱い立場にある女性の頼りになる機関で他に代わりがない。女性の相談，支援を充実することこそ犯罪や事件の少ない住みよい市への近道である。
- ・ 相談件数は年間1,700件を超えている。
- ・ 女性の社会参加を支援するための重要な相談窓口だ。

講座などについて（10件）

- ・ 講座を聞き問題意識を持つようになった。実践も心がけている。
- ・ 人生を変える講座の場だ。
- ・ パワハラセクハラ研修を受講し良かった。受講料も手ごろだ。
- ・ 男女共同参画に関する講座では多くの市民が学習している。
- ・ DV被害者向け講座等は安全確保が重要で，エル・ソーラ仙台の研修室が必要。削減などとてもない。
- ・ 託児付講座に参加し，目が覚める思いがし，心強く思った。女性が長く働けるための講座や子育てに関する講座の場を存続させてほしい。
- ・ 市民に役立つ企画が多い。
- ・ 研修が自分の力となっている。
- ・ できたばかりのグループだが，せんだい男女共同参画財団の助成金を得てイベントを行うことができた。
- ・ 託児を利用できるので，子育て中の母親でも学ぶ機会が与えられる。

(2) 行財政改革の必要性等について（137件）

- ・ エル・ソーラ仙台縮小は若干の財政的効果はあるかもしれないが，それ以上に大きな損失を被ることになる。
- ・ 1億円で緊急に手当てる施策とは何か。
- ・ 海外視察に数千万円の支出など無駄な出費を抑えてほしい。
- ・ 財政上の理由というが，なぜエル・ソーラ仙台なのか理由が分からない。他に削減する所はないのか，市全体をみて優先順位をつけ案を示すことで市民が納得するのではないか。
- ・ 費用見直し，経費削減は賛成，だがエル・ソーラ仙台だけ1億円捻出しなければならない理由が分からない。
- ・ 行財政改革は重要だが，なぜエル・ソーラ仙台か。

- ・ 行財政改革とは全ての分野で一様になされるものではなく、「金をかけるべきはかけ、削るべきは削る」とメリハリの利いたものであるべきだ。この案は1億円削減ありきの見直しではないのか。
- ・ 「行財政集中改革計画」の“改革”として、アエルの5~8階のスペースを確保したという働きを聞きたい。
- ・ 財政難のしわ寄せは市民活動等に向けられやすい。
- ・ 行財政改革は広く検討し直す。もっと他に節約できる部署があるはずだ。
- ・ 行財政改革を隠れ蓑に男女共同参画を抑える意図が見える。
- ・ 行財政改革を隠れ蓑に男女共同参画を抑える意図が見える。
- ・ 1億円削減が必要なら、他にも方法があるはずだ。
- ・ もっと他に予算を削る所はあるのではないか。
- ・ 1億円が何に使われるのか分からない。お金の使い道をしっかり説明すべきだ。
- ・ 年間4千億円の中の5億円は相対的に見て高くない。
- ・ 行財政改革に隠れて、男女共同参画を後退させようとしている。
- ・ 男女共同参画推進も増大する需要の一つ。これだけがターゲットになるのはおかしい。
- ・ 単なる貸館ではないのに、使用料収入と経費を単純比較するのはおかしい。
- ・ 需要や運営コストを考えてつくったはずだ。
- ・ 市には削るべき無駄な事業が沢山ある。
- ・ 縮小絶対反対。ここだけで1億円削減をしなければならない理由がわからない。財政難で、市民に身近なところの経費が減らされ、他のことに使われている。
- ・ なぜエル・ソーラ仙台が率先して縮小なのか。
- ・ 税金は市民の暮らしに役立つことに使ってほしい。
- ・ 1億円削減より高い付加価値を、男女共同参画推進センターは有している。
- ・ 縮小で得た1億円の用途の具体策はあるのか。その他の市政の転換、財政の無駄の検証はしたのか。
- ・ 大型事業見直しなど、税金の使い方を変えれば予算は生み出せる。
- ・ 財政難であっても現状維持を。
- ・ 市民のための行財政改革をしてほしい。
- ・ 行財政改革を盾に男女共同参画を押しやろうとするのはなぜか。
- ・ 男女共同参画はいろいろな問題の根っこにあるもの。行財政改革の名のもとに男女共同参画を後退させようとしているのではと心配だ。
- ・ 無駄を省くことは賛成だが、必要なものまで削減では元も子もない。
- ・ 行財政改革の全体計画を示してほしい。なぜエル・ソーラ仙台だけを半減させるのか。市の男女共同参画推進の考えと今後の事業展開を示し、その上で半減させても男女共同参画施策が後退しないという根拠を明示してほしい。市が貸し出している全ての施設の収支比較を示してほしい。
- ・ 費用見直し、即、規模見直しの結論は拙速。市全体で削減できる無駄は他にもっとあるはずだ。
- ・ 切捨てだけでなく、効果をあげることを模索することも行財政改革ではないか。
- ・ なぜこの男女共同参画推進センターだけ、行財政改革といって結論を急ぐのか。
- ・ 都合よく1億円という数字も変である。
- ・ 削減した1億円を何に使うのか。
- ・ ここで1億円削減しなくても、他にも削減できるところがあるはずだ。
- ・ なぜ、エル・パーク仙台やエル・ソーラ仙台が行財政改革の標的にされるのか。
- ・ 経費削減は、市民利益に繋がらない無駄使いを削減すべきだ。

- これまでの面積とした場合の賃料は。半分の面積とした場合の賃料は。研修室を1つにして企業使用料をあげた場合の収支は、現在の収支バランスと比べどれだけ改善するのか。
- 利用率も高く、年々利用者も増加している施設が、なぜ行財政改革の対象なのか。行財政改革の視点で5億円から1億円を削減する提案は、男女共同参画推進に逆行するものだ。
- 利用率も高く、年々利用者も増加している施設が、なぜ行財政改革の対象なのか。行財政改革の視点で5億円から1億円を削減する提案は、男女共同参画推進に逆行するものだ。
- 利用率も高く、年々利用者も増加している施設が、なぜ行財政改革の対象なのか。行財政改革の視点で5億円から1億円を削減する提案は、男女共同参画推進に逆行するものだ。
- 利用率も高く、年々利用者も増加している施設が、なぜ行財政改革の対象なのか。行財政改革の視点で5億円から1億円を削減する提案は、男女共同参画推進に逆行するものだ。
- 市民が払った税金は市民活動の場に還元してほしい。
- アエルを市の税金で建設したのがおかしい。
- 1億円削減は行財政改革の視点で、女性や市民の目線での提案ではなく、男女共同参画推進に逆行するものだ。
- 行財政改革の視点で5億円から1億円を削減する提案は、男女共同参画推進に逆行するものだ。案の撤回と共に一層の充実を希望する。
- 削減手段は他にもあるはず。
- 費用見直しには他にも方法があるはずで、初めから半分にし、1億円を削ることありきだ。
- 行財政改革で男女共同参画推進センターを縮小することはおかしく、男女共同参画推進を拡げることが行財政改革に繋がる。
- 他に削減できるものももっとあるはずだ。
- 行財政改革は全ての施設で行うべきだ。
- 高い賃料は仙台市が設定したもので、仙台市から仙台市に支払われていた。
- エル・ソーラ仙台での1億円削減理由とその1億円は何に使うのか分からない。
- 縮小は逆にアエルの利用者が減り、行財政改革に逆行するのではないか。
- どうしてこの施設だけ面積半減なのか。
- 必要な事業を実施し、無駄な事業は見直すのが行財政改革だ。エル・ソーラ仙台縮小の前に、見直しが必要な事業が他にたくさんある。
- 行財政改革対象施設は他にもっとあるはずだ。
- 他施設の収支状況も説明すべきであり、行財政改革責任者の同席なくして責任ある説明と言えない。
- 見直しには再度改修費がかかる。5年も経たないのに1億5千万円を無駄にし、更に改修で1億円の多額の税金を使うことになり、税金の使われ方が問題だ。
- 施設維持管理費用は4億6千万ほどで、東西線に比べかなり小額であり、行財政改革として削るといふならそれはいじめだ。行財政改革計画を変更し、掲載をとりやめるべきだ。
- 今どうしても1億円を削減しなければならないのか。
- 1億円は何に使うのか説明してほしい。
- 改修費はどの程度見込んでいるのか。整備に要した経費も安くないはずだ。
- 「増大する行政需要」とは何をさすのか、1億円は何に使うのか説明していない。行財政改革は市民のためにやるもの、市民が求めるものを市民と共に実現する気はないのか。
- 1億のために大切な機能を削ることにより、残りの4億まで無駄になってしまう。1億円を削減したい理由は何か。

- ・ 財政困難で最初に削られるのが市民生活の部分とは許せない。
- ・ 税金は市民のために使ってほしい。
- ・ 行財政改革の観点から 5 億円のうち 1 億円を削減する乱暴な提案で男女共同参画推進に逆行する。
- ・ 行財政改革の観点から 5 億円のうち 1 億円を削減する乱暴な提案で男女共同参画推進に逆行する。
- ・ 緊縮予算の中ケヤキには 1 億円以上の移植費用を捻出していた。他施設ではどの程度減額されるのか比較がない。5 分の 1 減額では「進める気がない」と言っているようなものだ。費用見直しの名目で男女共同参画の後退を招く恐れがあり反対だ。
- ・ 行財政改革の観点から 5 億円のうち 1 億円を削減する乱暴な提案で男女共同参画推進に逆行する。
- ・ ビルが売れたので経費は大丈夫ではないのか。
- ・ 行財政改革の観点から 5 億円の 1 うち億円を削減する乱暴な提案で男女共同参画推進に逆行する。
- ・ 高齢者も若者も学生も男女問わず語り合い勉強している交流の場だ。良い環境が整い市民が自由に利用している。こういうお金の使い方は無駄ではない。
- ・ もっと他のことで無駄遣いをしていると思う。
- ・ 他に運営費の見直しをする施設とエル・ソーラ仙台を比較検討してほしい。
- ・ 財政難の解決は不要な施策の削減によりなされるべきで、必要な施設の削減は認められない。
- ・ 行財政改革の観点から 5 億円のうち 1 億円を削減する乱暴な提案で男女共同参画推進に逆行する。
- ・ 行財政改革の観点から 5 億円のうち 1 億円を削減する乱暴な提案で男女共同参画推進に逆行する。
- ・ 行財政改革の観点から 5 億円のうち 1 億円を削減する乱暴な提案で男女共同参画推進に逆行する。
- ・ 財政は市民としても心配だ。だが「社会の中で生きるために勉強すること」は譲れないことである。
- ・ 他に遊んでいる土地、建物、人材がありそうだ。
- ・ 稼働率や採算が最優先されるのは営利目的の企業体質だ。
- ・ 市役所前の噴水のコストはどうか。行財政改革の一方で宮城野原陸上競技場を取得し負担が増えるのではないか。
- ・ エル・ソーラ仙台を行財政改革計画からはずしてほしい。
- ・ 1 億円の根拠があいまい。アエル売却で 280 億があるのなら、改修費用もかかるのだし、施設を継続させるべきだ。
- ・ まずここから行財政改革対象とすること自体、時代認識がずれている。
- ・ 市職員の給料が 1 位とのこと。他の削減を徹底したのか疑問だ。
- ・ 1 億円はどんな事業に充当させるのか示してほしい。
- ・ 1 億円の用途が不明確。否決されたとはいえケヤキ移植に多額の予算がつけられた。なぜ並木には予算があり市民のスペースは縮小なのか。1 億円はより便利なところへ移転する費用にでも使われるのか。
- ・ 右肩上がりの成長が見込めなくなっただけで、経費削減は重要だ。しかし行財政改革とは単なる経費削減ではない。廃止削減の理由、削減経費と使い道を考えるものだ。
- ・ 緊急な課題として、削減する 1 億円の半分を男女共同参画の啓発経費にあてるのか。
- ・ 他の事業には予算を付けても、エル・ソーラ仙台は縮小するのか。他に方法はないのか。
- ・ 市営の施設であり使用料だけで運営できないことは最初から分かっている。市民活動サポートセンターも同じである。
- ・ アエルや 141 ビルの費用が高いのは分かったが、マイカルが撤退したアエルに入居したのは市の都合だった。高い賃料もわかっていたことだ。エル・ソーラ仙台の賃料はこれまで一般会計から特別会計に支払われていただけで市のふところはいたんでいない。

- ・全国的に地方財政が悪化しているが縮小してよい事業と守り発展させていくべき事業がある。
- ・1億円の節約のために、市民グループの成長といった将来の可能性を刈り取ることは損失である。のびすく北・南はうれしいが、そちらに予算を投資してエル・ソーラ仙台を縮小するのでは整合性がとれない。市民一人あたり500円の負担でエル・パーク仙台とエル・ソーラ仙台の2館が運営できる。これを惜しんで何を行うのか。
- ・財政難のために節約をするなら、赤字確実といわれる東西線など他に削減するものがある。
- ・収支が他の施設と比較してどうか、施設整備した時の費用とあわせて教えてほしい。女性センター建設費用よりなお、エル・ソーラ仙台の費用がかかっているのか。
- ・行財政改革として男女共同参画推進センターの2館の名前が交代に挙がっている印象だ。
- ・なぜエル・ソーラ仙台だけ1億円削減するのか。そのお金は男女共同参画推進に使われるのか。アエルが高ければ安いビルフロアでもいいのでもっとたくさん作ってほしい。
- ・どんな基準で行財政改革を行っているのかわからない。小中学校、幼稚園などをつぶし、ごみ処理有料化、町内会補助金を削ってまで地下鉄をつくる必要はあるのか。利用者が多くても削減されるなら、地域のいろいろな施設も安心してられない。
- ・運営経費が使用料収入で賄える施設は、民間に任せるべきだが、行政目的があるから、市が整備運営しているはず。なぜ縮小、1億円削減を慌てるのか。他施設を含めた全体の方針を示すべき。
- ・行財政改革なら何でもいいのか。削減分で男女共同参画事業費を増やすのか。ごみ有料化では収入はごみ対策に使うという。アエルより安いビルに入居し面積を増やすこともできる。
- ・経費が高いというが、賃料の高いアエルへの入居は仙台市が決めたこと。貸し館で収入を上げることが目的の施設ではない。他の市民利用施設との比較を出すべき。せんだいメディアテークの光熱費のように、施設の性格や形状により節約しようのない経費があり、それは市の計画によるものだ。
- ・事業を見直し、必要なものを残し、余分なもの、我慢できるもの、ダブっているものを精査して削るのが行財政改革。
- ・なぜエル・ソーラ仙台だけで1億も減らさなければならないのか。他施設の行財政改革はどうなっているか。駐輪場の6億より優先する課題はあるのでは。男女共同参画の全体経費はどうなるのか。
- ・なぜエル・ソーラ仙台だけ見直しを急ぐのか。行財政改革でも他の施設には時間をかけている。
- ・賃料がいくらなのか、知らずに整備したのか。アエル入居は市の都合だったのに、今頃「高い」とはフェアではない。整備の際には巨額をかけて大規模改装をしており、ずっと入居させるつもりだったのではないか。
- ・なぜ今エル・ソーラ仙台を見直すのか、根拠が分からない。仙台市の行財政改革はそんなに進んでいるのか。駐輪場は6億円もする。1億円は男女共同参画の事業費に回るのか。
- ・3億のうち1億のマイナスとは他の施設と比較して不自然だ。18年度に男女共同参画の予算が3割カットされ、プライオリティが低いという見解であった。今回の縮小の理由は行財政改革ではなく、これと同じ状況なのではないか。
- ・必要なことにお金は使われるべき。男女共同参画事業はもっと力を入れるべきことだ。
- ・資金面は他の方法や経営を考えて努力してほしい。市民活動サポートセンターの移転にも相当の経費がかかったのではないか。
- ・どこまでも1億円捻出したければ別の方法を。規模を保てる、近辺の安いビルなどはないのか。ただしそれも余計なお金がかかる。
- ・税金はこういうことに使ってほしい。

- ・ 1億円の根拠があいまい。改修費は含むのか。1億削減のためにもっと多くの費用がかかり，市民の活動も減少してしまう。
- ・ 施設の最優先課題は市民が利用できることであり，財政ではない。
- ・ 諸々の削減は自分の足元でたくさんあるはずだ。
- ・ 赤字財政のためというが，教育や福祉は経済の観点でみるものではない。東西線も赤字なのではないか。
- ・ 1億円が捻出できるなら，それは男女共同参画という大きな目標達成に使われるべきだ。
- ・ どうすれば今のままで費用の見直しができるのか，知恵を募るのが，市民協働でやってきた仙台市のやりかただ。
- ・ 改修費を見込まないのはおかしい。1億の削減のためにそれに近いお金をかけるのか。
- ・ 改修費を見込まないのはおかしい。1億の削減のためにそれに近いお金をかけるのか。
- ・ 企業利用料の高額設定は，医療・福祉団体や中小企業など経営的に厳しいところは困る。
- ・ 4年前に莫大なお金をかけて作りながら，お金がなくなったため，新しく拡張した市民活動サポートセンターを利用する，という行き当たりばったりの姿勢だ。
- ・ 規模縮小以外にも費用削減の方法がある（開館時間の短縮，人のいない所の電気を消す，ライトダウン）
- ・ 財政削減ならばもっと他に縮小しなければならない所があるのではないか。
- ・ 1億円削減の理由が分からない。行財政改革のスケジュールや他施設の縮小・廃止の状況はどうなっているのか。安いビルに移る方法もあるのではないか。
- ・ 5億ぐらいかかるということだが，多くの市民に男女共同参画を啓発することを考えれば高くない。
- ・ 効率的な運営の基準はどんなことか。市民サービスを後退させずに効率的に置き換えていくのが行財政改革ではないのか。
- ・ 職員給与等，もっと手を付ける分野があるのではないか。
- ・ せんだいメディアテークの方が収支差は大きい。
- ・ 他に節減できる場所があるのではないか。税金が無駄に使われているのは残念だ。

(3) 施設の整備経過等について(72件)

- ・ 長い歴史をかけて発展してきた意義のある施設だ。単に節減目的で縮小することは考え直してほしい。
- ・ 先人が苦勞し実現したエル・ソーラ仙台だ。
- ・ 女性センター建設断念と引き換えに設置した。
- ・ 30年の歴史という経過を経て，現在の体制がある。安易なその場凌ぎの縮小は許せない。
- ・ 女性センター中止でやむなくエル・ソーラ仙台になった筈だ。
- ・ 女性センター建設を断念し，アエルに入居した経緯がある。
- ・ 交通至便な所に2館設置するから，女性センター計画白紙と言ったのは市だ。
- ・ 市の都合により女性センター凍結でやむなくアエルに入った。代わりに男女共同参画推進センターを建設するのでもなければ削減に賛成できない。
- ・ エル・ソーラ仙台を作るときにはいろいろと市民の意見を聞いているはずだ。それから5年しかたっていない。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。

- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 市民協働でつくりあげた街ということを全国に誇れる施設だ。
- ・ 女性センター建設断念し、アエルに入居した経緯がある。
- ・ 開館5年足らずで大幅な縮小とはどういうことか。
- ・ 女性たちが長年運動し、やっとできた男女共同参画推進センターが財政難を理由に縮小することに反対だ。
- ・ NPOの力を借りて男女共同参画を推進してきており、全国に誇れる施策となっている。
- ・ 市民協働でつくりあげてきたものを、壊さないでほしい。
- ・ 女性センターの検討経過があり、アエルに移ったのは最近だ。
- ・ エル・ソーラ仙台は女性センター計画を断念する代替案だったはずだ。
- ・ 女性センターがアエルに設置された経緯がある。
- ・ 女性センターがアエルに設置された経緯がある。
- ・ 女性センターがアエルに設置された経緯がある
- ・ 女性センターがアエルに設置された経緯がある。
- ・ 縮小は長町の計画が流れたことで済んでいる。
- ・ 設立して4年、なぜ縮小なのか。
- ・ 女性センターがアエルに設置された経緯があり、まだ5年足らず。
- ・ アエルに整備された経緯が全く触れられていない。賃料が高いなどは分かっていたことであり、2館整備の判断は市と議会だったはずだ。2館がこれまで果たしてきた役割を総括し、方向性を示すべきだ。
- ・ 市民協働で作りに上げてきた施設だ。
- ・ 2館体制は、女性センター建設を断念する代わりに市が提案したもので、アクセスがよく、面積減だが2館で機能を補いながら役割を果たせるようにするという約束だった。
- ・ これまでの経過を全く無視した提案は許せない。
- ・ エル・パーク仙台とエル・ソーラ仙台を合わせても長町に作るはずだった女性センターより狭いのではないか。
- ・ 過去の経過も一切無視している。
- ・ なぜエル・パーク仙台ができ、なぜエル・ソーラ仙台が更に求められ利用されてきたか基本に戻り考えてほしい。わずか5年で結論を出さないでほしい。
- ・ 長町に作る代わりに、アエルに小さく作るというのが、市が示した答えだった。
- ・ 市の説明は不十分だ。なぜ2館体制になったのか、なぜエル・ソーラ仙台がアエルに入ったのかの経過が示されていない。
- ・ はじめから女性センターを建設したほうがよかった。
- ・ 設立して未だ4年しかたっていない。
- ・ 設立して未だ4年しかたっていない。

- ・ 女性センターは財政を理由に断念し、アエルを代替に男女共同参画推進センターをスタートさせた。ワークショップで市民意見を取り入れた。
- ・ 設立して未だ4年しかたっていない。
- ・ 設置前のワークショップでキッズコーナーの利用方法を考えた。
- ・ 設立して未だ4年しかたっていない。
- ・ エル・パーク仙台廃止は多数の市民が反対しとりやめになったものの、沙汰やみとならず、縮小案発表となった。もともと女性センターが財政難を理由にとりやめとなったが、条例検討においてもその必要性がクローズアップされエル・ソーラ仙台開設となった。しかし2館でも女性センターの規模には及ばない。
- ・ 立ち上げから市民が関わり市民協働でまちづくりをしてきたのが急になくなる。
- ・ 仙台市の男女共同参画推進は活発な市民活動と共に展開してきて、エル・ソーラ仙台の開館もその流れにおいて実現した。
- ・ エル・パーク仙台存続に喜んでいたが今度はエル・ソーラ仙台縮小。開館して5年足らずなのになぜか。
- ・ 設立して未だ4年しかたっていない。
- ・ 設立して未だ4年しかたっていない。
- ・ 設立して未だ4年しかたっていない。
- ・ 市民の意見を取り入れ協働で作られた施設で必要なスペースである。
- ・ 女性センターが頓挫し、エル・パーク仙台では手狭になった機能を果たすため2館体制となった。
- ・ エル・パーク仙台問題に多くの市民が声を上げ存続が決まったら今度はエル・ソーラ仙台。エル・ソーラ仙台は2003年にオープンした施設だ。
- ・ 女性センターからアエルに変更になった経過がある。
- ・ 開館5年に満たない施設の大規模縮小は費用対効果の面からも疑問だ。少なくともあと5年は様子を見るべき。
- ・ 長町に予定していた女性センター断念のかわりに2館体制を市が自ら選択し、市民を説得した。エル・ソーラ仙台とエル・パーク仙台を足しても、女性センターの半分である。
- ・ 市と市民が協働で作上げた2館は市民の財産だ。
- ・ 女性センター・子どもセンター構想が見直しになりエル・ソーラ仙台が開館した。市民参加で意見を取り入れ議論を尽くして作られた施設だ。
- ・ 開館してから5年もたない施設。
- ・ 紆余曲折はあったが私たちが市を信頼し協働で作った男女共同参画推進センターだ。
- ・ 長町に女性センターを作るはずだったのに市の都合でアエルに入った。
- ・ 市中心部に2館は贅沢といっても市が決めたこと。その根拠、必要性は今ではなくなったのか。
- ・ 5年前に市からアエルに入ってくださいということだった。一貫性がなく納得できない。
- ・ 4年前に東京から講師を招きワークショップをしながら設計改修した費用は何だったのか。4、5年で既存のものを壊してまたお金を使うのか。4年前に莫大なお金をかけて作りながら、お金がなくなったため、新しく拡張した市民活動サポートセンターを利用する、という行き当たりばったりの姿勢だ。
- ・ エル・パーク仙台と機能分担し2つで1つのセンターとして設置されてから、まだ5年。市民参加でレイアウトや使い勝手を考え、協働で作上げた、全国に誇れる施設だ。
- ・ 前市長の市民協働の理念に基づき、市民と一緒に作りあげてきた施設だ。

- ・ 開館から4年で大幅見直しとは朝令暮改。ようやく市民に知られてきたころなのではないか。

(4) 男女共同参画推進の必要性等について(91件)

- ・ 男女共同参画社会の実現を願う。
- ・ 男女共同参画は国の21世紀の重要施策だ。
- ・ 男女共同参画社会の構築は、これからの日本の最重要課題だ。ということは、安心安全街づくりや市民全体の幸せ、市の発展のため、男女共同参画意識の普及啓発は、市が取り組むべき重要課題である。
- ・ 男女共同参画推進は世界的な流れだ。
- ・ 母と子の健やかに育つ社会づくりは市の重要な使命だ。
- ・ 少子化対策の切り札としても男女共同参画社会推進が必要なときに、流れと逆行する提案は理解しがたい。
- ・ 女性たちが活動できる機能をなくせば社会は元気をなくす。
- ・ 行政の緊急課題の一つが男女共同参画であり、子育て、労働、地域活性化等のあらゆるものの基盤になるもので、拡充されこそすれ、縮小は論外だ。
- ・ 仙台市はいち早く男女共同参画を旗あげし、これからという時に縮小などとんでもないことだ。男女平等の考えは、世の中を良くしていくための基本であり、縮小は人権尊重の流れや少子化の時代に逆行する。
- ・ 女性たちが経済的に自立し、しっかり子育てができることは仙台の発展にも繋がる。
- ・ 働く女性たちは格差社会の弱い立場にある。
- ・ 働く女性が安心して暮らせる街づくりを積極的に進めてほしい。女性たちをしっかりと応援できる施策、施設の充実こそが、真の男女共同参画社会の取組だ。縮小には反対、むしろ拡大してほしい。
- ・ 縮小は男女共同参画の後退に繋がるので絶対反対だ。
- ・ 男女共同参画の後退に繋がるので絶対反対だ。
- ・ 男女平等は21世紀の最重要課題、男女共同参画は市民に関係することであり、息の長い働きかけが必要だ。
- ・ これからは高齢者の時代、男性も女性もお互いを尊重して自立することが不可欠だ。
- ・ 男女共同参画自体が縮小してしまう恐れがある。女性は子供を抱え、男性並みの処遇が受けられないのが現実だ。
- ・ 高い文化意識等の形成は幾多の積み重ねの結果であり、それは仙台市の誇り、貴重な財産であり、市民協働による男女共同参画事業の成果があつてのことだ。拠点の縮小は、活動の展開や拡がりを妨げ、文化水準を後退させる。
- ・ 少子高齢化社会の今、男女共同参画推進はこれからを左右する大切なことだ。縮小という後ろ向きの考えはやめてほしい。
- ・ 21世紀の目指す男女共同参画社会の実現に向けた取組と先進性が高く評価されている。縮小はマイナスイメージとなり、シティセールスの観点からもプラスにならない。市のこれからを考えると反対の立場をとらざるを得ない。
- ・ よりよい社会を目指して、男女が行動することが今必要だ。
- ・ 男女共同参画は、市民一人ひとりが人間らしく生き、ともに進んでいく大事な施策だ。
- ・ これからの時代、女性と男性が共に理解し、家族や社会の一員として生きていくことが大切だ。現在、男女平等の視点に立った施策が求められている。

- ・ 女性社会参加が当たり前の中、女性はいまだに様々な障害に直面している。女性の才能が生かせる社会づくりを求める。
- ・ 市民、女性が元気で出かけられることで活性化される社会は宝だ。経済の活性化のためにも縮小より充実を考えるべきだ。
- ・ 削減は男女共同参画の後退であり、絶対削減してはならない。
- ・ 男女共同参画に関わる問題はたくさんあり、どれも市民の命や暮らしに直結する重要問題だ。
- ・ 男女共同参画は21世紀の最重要課題である。拡充することがあっても、削減することは許されない。
- ・ 男女共同参画は21世紀の最重要課題だ。
- ・ 世界的に男女共同参画が求められている。
- ・ 市にとって男女共同参画は重要な施策のはずだ。
- ・ 男女共同参画は女性の社会活動を促進し、家庭、社会、職場での男女の共同を促進させること。21世紀の重要課題で、地域や国レベルでの文化の質を高める。日本社会では女性、子供は未だ弱者でサポートが必要だ。
- ・ 市民の社会活動活性化を妨げることは街の元気の源をなくすことであり、男女共同参画の目的にも反する。本当に男女に開かれた街であり続ける為に縮小はしないでほしい。
- ・ 男女共同参画推進は長い歴史の中で作られた仕組みや価値観を変える一大事業である。推進なしに明日の仙台はない。
- ・ 少子化、格差社会の中で、穏やかに発展していくための課題を解決するには男女共同参画センターの役割は今後大きくなっていく。
- ・ 男女共同参画はすでに始まっている少子高齢化社会を乗り切るために欠かせない課題だ。
- ・ 男女共同参画推進は優先順位の高い政策のはずだ。
- ・ 2館は男女共同参画行政になくしてはならない施設だ。
- ・ 初めに縮小ありきの方針は納得できないし、高齢化社会における男女共同参画の重要性からも時代に逆行するものだ。
- ・ 男女共同参画は国の重要課題である。女性のがんばっても実力があっても、まだまだ男性と同等に扱われていない。
- ・ 少子化がとまらず、女性が安心して子供を産める社会が求められる。両立施策、DVなど男女共同参画推進の需要は増えている。
- ・ 男女共同参画の役割は、少子高齢化や仕事、生活、医療など人の一生にかかわること。市民活動を活発にすることがよりよいまちづくりになる。
- ・ 市の未来のためにはもっと子育て支援の充実や働く女性の応援が求められている。
- ・ 今後益々重要になる男女共同参画はもっと充実すべきである。
- ・ 見直して生じた1億円は緊急で重要な課題に充てるというが、男女共同参画こそが緊急で重要な課題である。
- ・ この先ワークライフバランスの実現は重要になり、なぜこれほどまで男女共同参画が求められてきたかが分かるはずだ、その礎を消さないでほしい。
- ・ DVの需要は最近増大する一方である。
- ・ 男女共同参画社会の実現はわが国の重要課題の一つ。女性が子供を生み、育て、人間らしく暮らし、自己実現を目指せる環境がなければ少子化はとまらない。
- ・ 福田内閣は、男女共同参画に力を入れると明言している。
- ・ 男女共同参画をめぐる課題は増えている現状だ。

- ・ 市は少子化対策，子育て支援をするなら，縮小案撤回をすべきだ。女性が幸せになれないまちで，女性は子どもを育てたくないはずである。
- ・ 男女共同参画社会の推進は，少子化を食い止め，国の活力保持のためにも大切なテーマだ。
- ・ 男女共同参画は 21 世紀の世界的課題だ。
- ・ 人を育てる街づくりのため男女共同参画を進める必要がある。
- ・ 少子化が叫ばれながら子育てをサポートしてもらえる所が少なくなるこそ，少子化に拍車をかける。長期的な視野に立った検討を願う。
- ・ ますます困難を抱える女性や母子世帯が増えている状況を身近にみている，日々，子供たちや保護者を見ていて思う。困難を抱える女性の支援などについて，充実が求められる。エル・パーク仙台もエル・ソーラ仙台も充実させてほしい。
- ・ 男女共同参画はとても大切なことでまだ不十分，行政の役割は大きい。DV や女性の働く環境，育児など女性の問題だけでなく，過労，定年男性の自立など男性の課題も生まれてきており，そうしたことに力を入れてほしい。
- ・ 子供を産み育てる女性を若いときから支え，自立を示唆し，困ったらケアするシステムと場所がこれから必要。少子化の歯止めともなる。
- ・ 人材育成のため，男女共同参画を推進するべき。これからは人材が世の中を動かす。
- ・ 男女共同参画の流れを止めたら将来の人材を育てる面でもマイナスが大きい。
- ・ 地方自治体における男女共同参画の後退が多数見受けられるが，将来を見据えて考えれば一時の後退は市民の財産を奪うことになる。お粗末な日本のジェンダー政策をこれ以上衰退させてはならない。
- ・ 格差社会が問題となっており女性が正社員になれず，仕事と子育ての両立が難しい。女性が社会にますます参画していかなければならない時代だ。
- ・ 男女共同参画は推進するべきで，拡充こそ必要，縮小はもってのほかである。
- ・ 財政難が続く中，男女が平等に社会を担う施策が必要で，社会保険制度，労働，教育，家庭など多方面の取り組みが始まった。
- ・ 男女共同参画は市民と企業が一体となり進めるもの。ワークライフバランスや子育て支援の必要性を謳いながら男女共同参画の芽を摘むことは大きく矛盾する。
- ・ 少子化進展の中，女性が安心して子供を産める社会環境の整備や，格差社会における母子世帯の貧困と貧困の世代間連鎖の問題，DV 被害者への支援など，男女共同参画施策の拡充が喫緊の課題となっているが，施設の縮小とは理解できない。
- ・ 男女共同参画は女性だけでなく男性を含めたいろいろな人たちに直接関わり，皆にメリットがある。
- ・ 子育てに関わる男女の意識を変えることが必要。若い女性は子育ての苦勞を考えて出産を躊躇している。夫の協力度が低いと第 2 子の出産を見送るという調査結果もある。
- ・ DV ，就労状況，育児支援の不足など女性を取り巻く問題だけでなく男性の育児参加，ジェンダーによる縛りなど男女共同参画推進が必要な状況で，機能の維持よりも拡大する必要がある。
- ・ 仙台は誰でも自由に使える場所が少なく，とりわけ子どもを連れた母親に冷たい。誰もが自分らしく生きやすい世の中をつくるため，男女共同参画が重要。両立の難しさや子育てをしながら自己実現を図ることの難しさから出産を躊躇する女性が多い。
- ・ これからの社会は男女共同参画が大きなキーポイントとなる。

- ・ 21世紀は男女共同参画社会の実現が最重要課題である。家事育児に縛られ何かと社会性がない女性だからこそ、エル・ソーラ仙台での勉強が必要で、女性を育てて社会の強力な人材として活用することが市の発展につながる。社会の半分を占める人的資源である女性を生かすべきだ。
- ・ 女性と子供は暴力の被害者となる確率が高い。子供を守るためにはまず母を守る必要がある。暴力の世代連鎖から子供たちを解き放つには大きな支援が必要だ。ひとり親家庭の問題や男女共同参画の問題にも力を入れるべき。基本的人権の尊重についての啓蒙も重要だ。
- ・ 男女共同参画は国の最重要課題であり、全国的にもまだまだ支援が必要だ。
- ・ DV被害者支援など新たな課題を抱え、事業の充実が求められている。その中で重要な拠点の削減とはどういうことか。
- ・ 超高齢化社会を支えていけるのは女性の協力があってこそ。女性が安心して働ける社会を望む。女性が生きやすい社会は男性にとっても生きやすい。
- ・ 男女共同参画は国を挙げて推進すべき今日的課題だ。
- ・ 少子化の激化などこの国は極めて厳しい局面にある。
- ・ 少子化が進み、まち、国全体の活力が弱まっている。安心して子どもを産み育てることができる社会の実現は待ったなしで、男女共同参画はその必須条件だ。
- ・ 住みよい環境のため教育が大切である。種をまき、育てるには時間もお金もかかる。育てられたものへ、人は社会に出て収入を得、税金を払う。
- ・ 男女共同参画社会の実現により女性の社会進出や経済力の向上、男性の長時間労働の緩和がもたらされ、長期的に見て社会保障費を抑制することができる。
- ・ 国でも男女共同参画を推進しようとしている矢先に仙台市が縮小するのか。
- ・ 女性の活動は子供、夫の幸せを生む力になる。人材育成のための予算は削減しないでほしい。
- ・ 女性に対する差別は解消されていない。男女平等社会に向け強力に推進するためエル・ソーラ仙台はとても大切だ。
- ・ ようやく基礎が整いこれからの時になぜ縮小しようとするのか。時代・社会の成長に逆行する。ぜひ再考を。
- ・ 女性が職業をもって働くことが大変な時代があった。市民は社会の不完全を苦勞として背負う。行政は前世代の苦勞に学び、苦勞が報われ繰り返さない政策を実行してほしい。男女共同参画政策に込められた目的は、DVや性差別などの問題に対処するだけでなく、性の違いにかかわらず市民の潜在力を顕在化して社会の力とすることだ。
- ・ 男女平等が遅れているため、国や自治体が取り組みを続けており課題は達成されていない。M型、非正規など雇用、家事育児の負担等の改善が求められる。均等法のように法による強制と、啓蒙や支援を通じた市民の育成が大切だ。予算や施設を縮小して政策目的を前進させられるとは思えない。
- ・ 諸外国や日本の政策を見ても、男女共同参画に力を入れなければならない。
- ・ 持続的発展のため、男女共同参画は最重要課題で多角的な取り組みが求められる。
- ・ やっと男女共同参画社会に向おうというときに縮小とは疑問だ。
- ・ 女性への暴力、デートDVなどへの取組が一層必要だ。

(5) その他規模の縮小に反対する意見(32件)

- ・ 絶対に縮小しないでほしい。
- ・ 規模維持を要望する。
- ・ 縮小に反対。

- ・ 縮小に絶対反対。
- ・ 削減絶対反対。
- ・ 削減しないでほしい。
- ・ 縮小反対。
- ・ 縮小に反対。
- ・ 規模縮小に反対。
- ・ 縮小反対。
- ・ 縮小に反対。
- ・ 削減反対。
- ・ 削減絶対反対。
- ・ 半分にするなどとてもない。納得できない。
- ・ 縮小計画に反対。
- ・ 縮小に絶対反対。
- ・ 縮小に反対。
- ・ すべて反対。
- ・ 縮小に反対。よく検討されることを望む。
- ・ 両館の存続を望む。縮小絶対反対。
- ・ 絶対反対。
- ・ 縮小に反対する。
- ・ 縮小に反対。
- ・ 縮小に反対。
- ・ 縮小に反対。
- ・ 縮小反対。
- ・ 縮小反対。
- ・ 縮小に反対。
- ・ 縮小に反対。
- ・ 縮小に反対。
- ・ 削減反対。
- ・ 縮小に反対。

市の姿勢や強化すべき事業，市民意見募集方法等に関する意見（330件）

（1）市の姿勢に関する意見（156件）

- ・ 縮小するよりも，もっとやることがあるはずだ。
- ・ 仙台市は他市町村の男女共同参画推進の先頭をきる施策や活動をしてほしい。
- ・ 研修室は講座実施場所にもなっており，講座場所をなくすのは男女共同参画課自ら，施設設置目的に逆行することだ。
- ・ せっかく芽生えた市民活動を摘むことは後世に禍根を残す。
- ・ エル・パーク仙台の存続が決まった直後にエル・ソーラ仙台の縮小とは。エル・パーク仙台の話のときに対案として出しておくべきで，市民を馬鹿にしている。5年目で縮小はビジョンがなさすぎる。結論を出すにしても2月議会に間に合わせたいという意図が見え隠れしていて，縮小案は受入れがたい。
- ・ 当初目的や基本構想に照らした評価と総括を示してほしい。
- ・ 市は何を目指し，何を優先させようとしているのか。
- ・ 仙台市が目指す男女平等のまちについて明確なビジョンを求める。それが無い限り，行財政改革でも縮小に賛同できない。
- ・ 市の男女共同参画方針が変わったならきちんと説明するべきだ。
- ・ 国の基本法方針に市がどのようなスタンスで臨むのかという基本姿勢が示されていない。また2館の果たしてきた役割をどのように捉え，今後どうして行くのかというビジョンがない。仙台では男女共同参画は行政と市民が手を携えて実現に向け努力してきたが，市民とともに歩む市民協働の姿勢が見えなくなった。
- ・ 市民協働でやってきたセンターの縮小は受入れられない。エル・ソーラ仙台がこれまで果たしてきた役割を低評価することではないか。
- ・ 男女共同参画課に，男女共同参画推進センターを守るという使命感があると信じる。
- ・ 男女共同参画を敵にしているのはなぜか，明言すべきだ。そして市長は将来を見据えた市政を行うべき。
- ・ 市民の意向を無視し，やりやすいところから行財政改革を進めようとする姿勢に反対する。
- ・ エル・パーク仙台の廃止危機が回避された後に，縮小問題が浮上。毎年このような問題が持ち上がり不安である。
- ・ 文化都市を標榜する市政を堅持すべきだ。
- ・ 男女共同参画社会を前進させるためになすべきことを示すことが市の仕事だ。
- ・ エル・パーク仙台見直しの反省は市にないのか。市民の納得が得られるまで見直しはすべきでない。
- ・ 市民のほうを向き市民のことを考えた市政をお願いする。
- ・ 防犯や高齢者の見守り，育児支援等で市民の力を貸してほしいといいながら，一方で市民活動をしにくくしていることに，矛盾を感じないのか。
- ・ エル・パーク仙台の存続が決まった後，今度はエル・ソーラ仙台か。弱者に優しい仙台市であってほしい。
- ・ 市の男女共同参画推進がまだまだなのに縮小とは男女共同参画をしたくないように思える。
- ・ 市は浮かせた経費で何をやるのか提案がない。縮小するよりもっと前向きに受けとめ頑張してほしい。

- ・市の考え方が変わり男女共同参画推進センターを見直せということか。DVや女性問題には重きをおかなくていいということなのか。
- ・男女共同参画推進センターを毅然たる態度で守ることを市民に知らしめてほしい。
- ・同機能の施設が周辺に多いのは市の施策上の問題だが、どの施設も利用率が高く、市民に必要とされている。市民の方を向いて、市民のことを考えた市政をお願いする。
- ・今後も市民のための市政をお願いしたい。
- ・縮小を提案するなら、今後の推進案も含めて提案するのが筋だ。
- ・仙台の男女共同参画の後退というイメージが懸念される。維持を求める。
- ・男女共同参画推進施策は市の中心課題の一つである。男女共同参画がいかに重要かを認識し、市民に知らせ、ともに男女共同参画推進を進めていくことが男女課の最重要課題だ。
- ・削減の根拠だけを主張する手法には、行政の欺瞞を感じる。
- ・目標を明示し、それを達成するための道筋を示した上で、市民と合意を図るのが本筋だ。
- ・市民協働で街づくりを進めてきたというが、もはや過去のことではないか。具体的なことが何も無い説明で、お茶を濁そうとする態度は行政の思いがかりだ。見直しは慎重にすべき。
- ・機能充実し、施設は縮小とあるが、本当に可能なのか。まず場所の縮小ありきではないのか。決めておいて、形だけの意見募集は困る。
- ・アエル建設のツケを女性センターに回したのは市である。民間や市民団体に安く委託し、事業費や活動ブースは一方的に削減、それが市のやり方か。
- ・賃料が高いことなどは始めから分かっていたことであり、今更それが悪いというのはおかしい。
- ・独裁的な結論ではなく、市民の意見を集約してほしい。
- ・「男は外、女は家」「女は家事、育児」を推進するのではと心配だ。
- ・市の男女共同参画行政は何を目指し、このまちをどうしたいのか説明してほしい。
- ・DV被害者支援など様々な施策や、事業を行うことこそが男女共同参画課の重要な課題だ。
- ・仙台市の男女共同参画事業の到達度はどうか。政令市との比較はどうか。今回の提案は“市民が主人公”に反する行為である。
- ・エル・ソーラ仙台縮小は、仙台のイメージダウンにも繋がる。
- ・アエルビルの市政の失策から、市民の活動にしわ寄せするなどもってのほかだ。
- ・縮小は、市が市民協働で進めてきた男女共同参画推進の後退である。
- ・市民の声をもっと大切にしてほしい。
- ・今後も場を大切にすることを切望する。
- ・市が反対意見を聞いても進めるとしたら、行政は私たちの税金を何のために使うのかと、疑問を持たざるを得ない。
- ・将来を見据え真に何が重要かという視点で取り組んでほしい。
- ・規模縮小での経費削減は長期的に見てどうなのか、先進都市の施設と効果を見ながら、男女共同参画事業がより発展する方向で考えてほしい。
- ・他の都市を啓蒙する意味でも男女共同参画を先駆けて推進しなければならない。
- ・男女共同参画課から施設縮小提案の苦しさ伝わってこない。男女共同参画課の役割を考えてほしい。
- ・何のために男女共同参画課があるのか。
- ・市民協働の姿勢はどこに消えてしまったのか。
- ・市民に情報を公開し、見えるところで政策を決めてほしい。

- ・ 男女共同参画つづしに対する世間の反応を探っているような市の態度に不信感が募る。
- ・ 施設評価をしたのか、評価を公表して問うべきである。仙台市は女性に対してガラスの天井を設けるのか。
- ・ 市は今後の男女共同参画推進の方針を示してほしい。
- ・ 現在の男女共同参画課の在り方と姿勢にがっかりした。市民と共に、また女性たちの力を信じ施策を推進してほしい。
- ・ 市民の側に背を向けているのではないか。活動拠点・支援の場を踏みにじらないでほしい。
- ・ 機能拡充と施設縮小が両立するという、初めに結論ありきの市の姿勢に疑問を感じる。
- ・ 政策の優先順位は市民参加で決めるべきである。
- ・ 縮小ありきで納得できない。センターは「男女共同参画のまち・仙台」を実現するためにあるのではないか。規模縮小は、市の公共施設を総点検し、評価をしてから行うべきだ。
- ・ 十分な総括がないままの発言は、市のいい加減さを露呈している。今後どんな手段で平等のまちの実現を図るのか、納得できる説明を求める。
- ・ 集まった意見は全てホームページに載せるべき、その上で一つひとつの疑問にきちんと答えるべきだ。
- ・ 突然の縮小提案は、不信感が募る。
- ・ 男女共同参画をどう実現しようとしているのか全く理解できない。
- ・ これまでの市民協働の市政に背く行為だ。仙台のイメージをどう描き、どう実現させようとしているのか。
- ・ 男女共同参画が緊急、重要でないと考える理由は何か。
- ・ エル・ソーラ仙台の取組内容について、4年分の実績評価を行わない限り、男女共同参画推進センター見直しはできない。
- ・ エル・パーク仙台やエル・ソーラ仙台ばかりがなぜ縮小の対象とされるのか。市は市民活動をどう評価しているのか。
- ・ 男女共同参画施策はせんだい男女共同参画財団任せになっている感じがするので、男女共同参画課は面積を減らすよりもっと充実していくよう努力を。
- ・ もっと市民の方を向いてほしい。
- ・ 行財政改革計画と男女条例で条例が優先するのであれば、男女共同参画課として男女共同参画推進センターの縮小案には簡単に納得できないはずだ。
- ・ 今回の提案はあまりに唐突、市は男女共同参画行政をやめたいのか。市は市民の声を聞きたくないのか、市民と共にまちづくりを進めるのが嫌になったのか。
- ・ 前市長の継承ということだが、男女共同参画施策は逆である。
- ・ 広くなくていいという根拠を示すべきで、自分たちで何でも勝手に決めようとせず、市民と一緒に考えるべきだ。
- ・ 市が掲げている削減根拠はどれもおかしく矛盾だらけだ。
- ・ 後世に汚点を残さないためにも、拙速な結論を避けてほしい。
- ・ 市長は男女共同参画を進める気がないのか。1ヶ月で結論を出すのは拙速すぎる。
- ・ 前市長の後継者ということは嘘だったのか、そのときの約束が、もったいない、お金がないということに反故になるのか。
- ・ 男女共同参画についてどんなビジョンを持ち、政策を実行していくのか全く示されない。はじめから結論があったのか。早急に目指す男女共同参画社会のイメージを示し、市民の意見を求め、しっ

かり議論し、イメージを共有して市政運営に当たるのが協働の基本ではないか。今の市にはそれがかけている。

- ・ 市が目指す平等のまちとはどんなまちか、そのために両施設が果たしてきた役割をどう評価し、これからどうしていくのか説明してほしい。
- ・ 2月議会で提案するとしたら、もう結論が出ているのではないかと考えてくる。
- ・ 市は男女共同参画推進をやめるつもりなのか。
- ・ 男女共同参画をめぐる課題は増えている現状の中で、大切な拠点施設削減では市の人権意識を疑う。
- ・ エル・ソーラ仙台だけがこうした根拠で縮小されるのか、男女共同参画推進センターをなくしたいという意図があるのではないか。
- ・ 市は男女共同参画推進センターの意義をどう捉え、どう評価しているのか、その上で何のために見直しをするのか。もっと丁寧に説明し、じっくり議論すべきだ。
- ・ 最初から面積半減という結論ありきだ。男女共同参画にどう取り組むか市のビジョンを示してほしい。
- ・ 拠点施設が今の市民に必要とされていることを学ぶべきだ。
- ・ 男女共同参画社会基本法と条例に則って推進する約束を守ってほしい。費用のみを理由に縮小するだけでは市民のほうを向いていない。時間をかけて議論してほしい。
- ・ 市には男女共同参画推進のイメージがないと感じた。市は、男女共同参画を社会の基本にするため、啓発普及に努める義務がある。
- ・ 市は、市民活動を援助すべきであるのに削減はおかしい。
- ・ これまで男女共同参画推進に努めてきた市の姿勢とはとても思われない提案。国の最重要課題として男女平等の実現に積極的になってほしい。
- ・ せっかく良い環境が整っていて市民が自由に利用している施設をなぜ縮小するのか理解できない。
- ・ 男女共同参画推進事業に対する逆行冷遇措置は目に余る。
- ・ エル・ソーラ仙台開館時の理念と情熱はどこへ行ったのか。
- ・ 数字や目に見える成果にすることができない市民の活動を長い目でサポートしてほしい。
- ・ 活動ブース団体のことをはじめエル・ソーラ仙台の利用実態を市ではわかっているのか。
- ・ 縮小ありきの考えに、基本法をどう捉えているのか不信感が募る。
- ・ 市民活動が盛んな仙台のよさをもっと外部にアピールし、市民活動を応援する行政として仙台や宮城を活性化させてほしい。
- ・ 市民活動支援施策が展開されてきた仙台。これまで培った市民活動基盤を掘り崩すことに危惧する。市民協働の理念と実践が後退する。
- ・ 男女共同参画事業に市は消極的になっている。否定しようとしている。一度動いた施策の後退は市民として許さない。
- ・ 仙台市は早くから女性問題に力を注ぎ、講演や活動の拠点を整え、多くの女性を救い、悩みを持った女性に勇気を与えてきた。これが縮小とは驚いている。
- ・ 予算を削ることばかりでなく、住みよい、暮らしやすい、女性が元気でいられる社会を考え応援してほしい。
- ・ 首相、大臣の発言にもあるように国では推進しているのに、仙台の縮小は後退であり矛盾する。
- ・ 規模拡大して1館にするなどならわかるが、経費のみで縮小には反対。男女共同参画推進の姿勢が見られない。機能向上の提示もなく、施策の後退である。

- ・ 男女共同参画推進を逆行させることばかりで情けない。市では子育て支援施策をアピールしているがそれも男女共同参画とつながっていることに気づかないのか。
- ・ ただ予算を減らすことしか考えられないのは未熟である。
- ・ 長年の市民や市民団体との信頼関係に基づく協働の市政の推進を望む。
- ・ 仙台市がどこに重点を置いて行政を進めるのか不信がつのる。
- ・ 仙台市は生涯教育の歴史があるため男女共同参画プランの実行がスムーズで全国にも誇れるものだったが、これまでと逆行する市政に落胆した。仙台を目標としてきた他の自治体にも恥ずかしい。市民活動の拠点、シティセールスの面からも再考を望む。
- ・ 仙台市は男女共同参画を総合的に推進する意欲がないのかと思う。行政の縦割り体質が色濃く現れている。市民協働を横のネットワークで推進すべき。例えば子育ては子供未来局なのでキッズコーナーはのびすく仙台ができるからよいということではない。
- ・ 市民生活に直接関わる重要な課題は市民の合意の下に進めるのが筋である。
- ・ 市民が納得し、了承し、新たな街づくりの方向、男女共同参画を進めていこうと思える説明をし、合意を得る努力をするべきだ。
- ・ 縮小は仙台市の将来を縮小させることであり、市の明るい未来のためにも縮小させないよう願う。
- ・ 男女共同参画推進センターの存在意義をどう考えているのか疑問。機能を維持しながら縮小ということが担当部局から出るとは納得いかない。
- ・ エル・ソーラ仙台を設置したことやその役割について市の評価や総括はないのか。市民からの評価はどうか。それをせざるに経費がかかるから縮小とは政策に責任がない。
- ・ 市民の信頼を裏切らないでほしい。
- ・ エル・パーク仙台の廃止を言い出したのに続き、エル・ソーラ仙台縮小提案、なぜなのか。仙台市は男女共同参画の推進をやめたいのか。法律や条例を無視するのか。
- ・ 他の施設のことなど全体方針を示すべき。市政は市や市長のものではなく、市民が主役だ。
- ・ 男女共同参画社会の実現のために何をするつもりなのか思想や哲学が見えない。
- ・ スペース半減、1億円削減前提の案にいたる市の態度に不審、不満、不安だ。
- ・ エリート女性の登用だけでなく、だれでも能力が引き出され、活かされる機会のある市政を望む。施設を縮小する提案が先にたち、市のやる気が伝わってこない。
- ・ 今後の男女共同参画行政をどんなビジョンで進めるつもりか。条例やプランをどう考えているのか。
- ・ 市では男女共同参画の推進をどのように認識しているか。エル・パーク仙台とエル・ソーラ仙台の設置目的と果たしてきた役割、社会情勢の変化、解決した課題、生まれた課題などの現状を把握しているのか。施設整備の展望と、廃止縮小の基準を示してほしい。また、アエルを作ったのも、外資に売却したのも市である。自分の都合に市民を巻き込まないでほしい。
- ・ 市民活動をどう評価しているのか。もう市民活動はいらないのか。これまで市民と共に力を合わせて男女共同参画の推進を進めてきたことをやめるのか。法律や条例の趣旨に反対なのか。
- ・ 政策(2館体制)の効果についての総括と方針の転換について市民に示されたのかがあいまいだ。進め方が拙速である。
- ・ 今回の見直しは仙台市が従来から行ってきた市民協働をなくすしにする。
- ・ 市では男女共同参画の課題にどう対応していくのか。推進を放棄したのか。
- ・ 市は市民活動の夢を実現させるための良きサポーターになってほしい。縮小は市民のやる気を萎縮させる。
- ・ (こうした場を確保することが) 行政の市民に対する姿勢の評価につながる。

- ・ 宮城のリーダーであり学都，楽都，国際都市である仙台市が，女性政策で後ろを向くことはしないでほしい。
- ・ 弱い立場の人たちの気持ちを理解してほしい。
- ・ 縮小案に矛盾を感じる。男女共同参画推進審議会における意見を方針決定に反映しないのは，おかしいではないか。
- ・ 市民が築いてきた男女共同参画推進を続けていくことが市長の公約ではないか。
- ・ 国内外から注目を集めるセンターであり，仙台市の誇りでもあるのになぜ縮小か。
- ・ なぜ決定を急ぐのか。多くの利用がある施設のことを短期間で決定していいのか。男女共同参画を重要視していないからではないか。
- ・ 男女共同参画において市民参加を進めてきたが，縮小はこれまでの施策に反する。
- ・ エル・パーク仙台の廃止，審議会委員の選考，予算の削減の流れの中に見直しの問題がある。市民と向き合い意見を聞く姿勢が最も基本的なことだ。
- ・ 男女共同参画推進センターを立ち上げたものの，その意義の重大さを十分に理解していないのではないか。
- ・ 緒に就いたばかりの男女共同参画を推進する拠点施設に手をつけるべきではない。
- ・ 市民活動を行う場所は年々必要性が高まり，仙台市民として誇らしい。それを半減とは，この部門を軽視している。エル・ソーラ仙台で行われている活動を，市として縮小したいということか。縮小を急ぎ強硬に推進する市に対して，不信感を持った。
- ・ 市民活動を行う場所は年々必要性が高まり，仙台市民として誇らしい。それを半減とは，この部門を軽視している。エル・ソーラ仙台で行われている活動を，市として縮小したいということか。縮小を急ぎ強硬に推進する市に対して，不信感を持った。
- ・ 男女共同参画の推進は審議会と市の話し合いの中でも明言されていたが，センターの縮小とは大きな矛盾。担当課は推進する部署なのに縮小案を出すとは疑問だ。
- ・ 男女共同参画と市民協働を市長選公約に掲げ，前市政を継承するとして市民の信を得た。
- ・ 市民の意見をよく聞いてほしい。
- ・ 条例の理念に逆行し，地道に活動し利用してきた市民の熱意に水をさすものであり許すことはできない。
- ・ 男女共同参画を推進したいのか，法律や条例を守る気があるのか。
- ・ 担当課は利用のされ方を知っているのか，エル・ソーラ仙台にどれほど来て観察しているのか，きちんと評価しているのか。
- ・ 市では男女共同参画はどのようなことと思うか尋ねたい。2館の評価なくして，突然の拠点つぶしと取れる面積半減は，市民の賛同は得られない。
- ・ 男女共同参画推進事業の評価は。事業推進の対案を出してほしい。
- ・ 市では男女共同参画をどう実現しようとしているのか。併せてエル・パーク仙台，エル・ソーラ仙台の位置づけと評価は。
- ・ 男女共同参画を推進する上での交流機能や活動支援機能をどう評価しているのか。
- ・ 総合的な視野に立った見直し案を。
- ・ これから前進しなければならぬところが縮小とは市政に疑問だ。
- ・ 見切り発車をしないように願う。

(2) 今後強化すべき事業に関する意見 (42 件)

- ・ DV , セクハラ対策は充実してほしい。
- ・ DV , セクハラ機能については拡充を望む。
- ・ DV機能を強化してほしい。
- ・ 例えばDV対応への充実の活用も検討すべきだ。
- ・ 相談・支援機能の充実とあるが , DVの機能強化を望む。
- ・ DV対策などは充実してほしい。
- ・ DV機能の強化を望む。
- ・ DV , セクハラについては地域に安心して相談できるところがほしい。
- ・ 3億円近くの費用には驚きだ。個別相談や職場啓発充実 , 保育園・児童館・病時保育を働く女性の身になって真剣に改革していくなど , やるべきことは他にあるはず。改革案に賛成。むしろ廃止も含め見直しを加速すべきではないか。
- ・ 福祉の充実を希望する。
- ・ 育児支援や産婦人科医の増強など , 女性にとってもっと切実な問題に金を使ってほしい。
- ・ ますますDV被害者支援充実が求められている。相談業務 , 研修室 , 図書資料ラウンジ等の機能はとりわけ被害当事者には必要ものだ。
- ・ 相談や自立支援 , 子育て支援の場であることをPRし , さらに有効活用する努力が必要だ。
- ・ 女性学講座 , 再就職のための就業支援講座など学びたい女性たちへの学習機会の提供が必要だ。
- ・ 男女共同参画社会実現にはワークライフバランス , 働き方の意識変革が必要だ。
- ・ 相談室の安全管理がとても重要 , 相談業務の一層の充実を望む。
- ・ 情報提供や相談機能を充実強化していくよう努力してほしい。
- ・ 女性の相談 , 支援を充実することこそ犯罪や事件の少ない住みよい市への近道である。
- ・ 男女共同参画社会の構築は , これからの日本の最重要課題だ。ということは , 安心安全街づくりや市民全体の幸せ , 市の発展のため , 男女共同参画意識の普及啓発は , 市が取り組むべき重要課題である。
- ・ 母と子の健やかに育つ社会づくりは市の重要な使命だ。
- ・ 女性たちが経済的に自立し , しっかり子育てができることは仙台の発展にも繋がる。
- ・ 働く女性が安心して暮らせる街づくりを積極的に進めてほしい。女性たちをしっかり応援できる施策 , 施設の充実こそが , 真の男女共同参画社会の取組だ。
- ・ 女性社会参加が当たり前の中 , 女性はいまだに様々な障害に直面している。女性の才能が生かせる社会づくりを求める。
- ・ 男女共同参画は女性の社会活動を促進し , 家庭 , 社会 , 職場での男女の共同を促進させること。21世紀の重要課題で , 地域や国レベルでの文化の質を高める。日本社会では女性 , 子供は未だ弱者でサポートが必要だ。
- ・ 少子化がとまらず , 女性が安心して子供を産める社会が求められる。両立施策 , DVなど男女共同参画推進の需要は増えている。
- ・ 市の未来のためにはもっと子育て支援の充実や働く女性の応援が求められている。
- ・ DVの需要は最近増大する一方である。
- ・ ますます困難を抱える女性や母子世帯が増えている状況を身近にみている , 日々 , 子供たちや保護者を見ていて思う。困難を抱える女性の支援などについて , 充実が求められる。

- ・ 男女共同参画はとても大切なことでまだ不十分，行政の役割は大きい。DV，労働，育児，過労，定年男性の自立など対応すべきことが山積みだ。
- ・ 人材育成のため，男女共同参画を推進すべき。これからは人材が世の中を動かす。
- ・ 少子化進展の中，女性が安心して子供を産める社会環境の整備や，格差社会における母子世帯の貧困と貧困の世代間連鎖の問題，DV被害者への支援など，男女共同参画施策の拡充が喫緊の課題となっている。
- ・ 子育てに関わる男女の意識を変えることが必要。若い女性は子育ての苦勞を考慮して出産を躊躇している。夫の協力度が低いと第2子の出産を見送るという調査結果もある。
- ・ DV，就労状況，育児支援の不足など女性を取り巻く問題だけでなく男性の育児参加，ジェンダーによる縛りなど男女共同参画推進が必要な状況で，機能の維持よりも拡大する必要がある。
- ・ 21世紀は男女共同参画社会の実現が最重要課題である。家事育児に縛られ何かと社会性がない女性だからこそ，エル・ソーラ仙台での勉強が必要で，女性を育てて社会の強力な人材として活用することが市の発展につながる。社会の半分を占める人的資源である女性を生かすべきだ。
- ・ 女性と子供は暴力の被害者となる確率が高い。子供を守るためにはまず母を守る必要がある。暴力の世代連鎖から子供たちを解放するには大きな支援が必要だ。ひとり親家庭の問題や男女共同参画の問題にも力を入れるべき。基本的人権の尊重についての啓蒙も重要だ。
- ・ DV被害者支援など新たな課題を抱え，事業の充実が求められている。
- ・ 超高齢化社会を支えていけるのは女性の協力があってこそ。女性が安心して働ける社会を望む。女性が生きやすい社会は男性にとっても生きやすい。
- ・ 住みよい環境のため教育が大切である。
- ・ 男女平等が遅れているため，国や自治体が取り組みを続けており課題は達成されていない。M型，非正規など雇用，家事育児の負担等の改善が求められる。均等法のように法による強制と，啓蒙や支援を通じた市民の育成が大切だ。
- ・ 女性への暴力，デートDVなどへの取組が一層必要だ。
- ・ 市には男女共同参画推進のイメージがないと感じた。市は，男女共同参画を社会の基本にするため，啓蒙普及に努める義務がある。
- ・ 条例に基づき様々な事業を実施している拠点である。例えば男女共同参画推進センターにおいても子育て支援をすべきだ。

(3) 市民意見募集方法や説明内容に関する意見(126件)

- ・ 広報紙等を利用し市民に周知徹底を図ったのか。2月の議会に間に合わせる意図ではないのか。
- ・ エル・ソーラ仙台の5年間の自己評価と総括は。規模を2分の1にして機能を維持という矛盾した方針への考えは。意見集約状況とそれに対する評価・見解は。議会決定前に再度説明会開催を。
- ・ レイアウト案もなく根拠不明の説明に不信感を持つ。2回の説明会では足りない。
- ・ 説明は，市民を無視した勝手な言い分。市民交流スペースや活動ブースをなくしてもエル・ソーラ仙台の機能が変わらないという根拠はどこにあるか。見直し案を撤回し，2館機能を維持しつつ，男女共同参画を推進していくことを市民に約束してほしい。
- ・ しっかりした現地調査，把握に基づく対応を。規模半分でも機能維持できるというなら，具体的にその内容を示すべきだ。
- ・ 見取り図や拡充内容，なぜ統合可能か等を具体的に示されておらず，面積半減に疑問を持つ。改めて市民と意見を交換すべきだ。

- ・ 縮小反対，市民の意見を聞く会を早急に強く要望する。
- ・ 縮小反対，市民の意見を聞く会を早急に強く要望する。
- ・ 縮小反対，市民の意見を聞く会を早急に強く要望する。
- ・ 縮小反対，市民の意見を聞く会を早急に強く要望する。
- ・ 縮小反対，市民の意見を聞く会を早急に強く要望する。
- ・ 縮小反対，市民の意見を聞く会を早急に強く要望する。
- ・ 縮小反対，市民の意見を聞く会を早急に強く要望する。
- ・ 縮小反対，市民の意見を聞く会を早急に強く要望する。
- ・ 市の説明は具体性がなく財政難を繰り返すのみで，エル・ソーラ仙台で行われている諸活動が市民に必要とされていることを無視している。
- ・ はじめに縮小ありきで容認できない。
- ・ 函面もなく，1フロア削減，1億円削減は，最初に答えありきと思うのは当然だ。ビル売却と関係ないという説明に納得できない。
- ・ 半減して実施したい事業とは。求められている市政の重要課題とは。市民が納得できるよう説明をしてほしい。もっと説明責任を果たすべきだ。
- ・ なぜエル・ソーラ仙台だけ縮小か。エル・パーク仙台も当面とあるが，今後縮小するのでは。この2点について説明がない。市民に真実を説明すべきだ。
- ・ 市民の反対意見を聞き，見直しを取りやめてほしい。
- ・ 提案は唐突であり，説明も十分には行っていない。
- ・ 2月議会に見直し案が間に合えば，説明は嘘だということになる。
- ・ 内容を示して説明をし，市民意見を聞いて決めていくべきだ。
- ・ 経費削減方法をもっと市民に呼びかけ，案を出してもらうべきだ。
- ・ なぜ半分という極端なものが出てくるのか，きちんと説明をしてほしい。
- ・ この説明にはだまされているような感じだ。利用実態を正しく載せていない資料を信じられない。この資料で，意見募集はすべきでない。
- ・ もう少し時間をかけられないものか。
- ・ 説明会での市の回答も曖昧だ。幅広い意見を集約というのは，説明会で縮小反対意見ばかりだったが，そうではない意見を待っているということか。
- ・ 無料スペースを利用して活動している市民やグループの検証をした後に，市民意見の募集をすべきだ。
- ・ 案では十分な説明がされているとはいえない。面積半分のレイアウト図がないと判断できない。
- ・ 意見募集後に説明会を開催し更に意見を聞かなければ，建設的案は出てこない。2月議会に提案されたら，内容を固めていたととられても当然だ。
- ・ 事業変更決定のプロセスを明示すること，その過程に市民参加をどのように保障するかを示すことは行政の責務である。
- ・ 突然の提案と説明会開催に抗議する。説明会に多くの人がかかけ，多くの反対意見が述べられたことを受け止めてほしい。
- ・ 節約は必要だが，節約の工夫を市民に呼びかけてほしい。
- ・ 見直し案には男女共同参画推進で何をしたいのかという方針や2館の評価も示されていない。再度市民との話し合いの場を設けてほしい。

- ・ 市民が納得し共感できる説明をする義務がある。
- ・ ホームページの意見募集は、気づかれぬようにと画策したようだ。市を信用できない。
- ・ 図面や改修経費の情報をなぜ出さないのか。早急に市民への説明責任を果たすことを要望する。
- ・ 早急に市民への説明責任を果たすべきだ。
- ・ なぜエル・ソーラ仙台縮小かの説明がない。
- ・ 説明会や審議会での意見を十分検討してほしい。
- ・ もっと納得いく説明がほしい。
- ・ 説明会で質問があったにも関わらず、図面を隠し真実を話さないとしたら責任問題だ。2月議会に改修工事費の予算案が提案されれば、前から図面をもとに検討していたことになる。
- ・ 市民に大きな影響ある方針転換なのに、市民を納得させる説明を怠ったまま強行突破を図ろうとしている。
- ・ 説明会も結論ありきで、聞くポーズだけにしか見えない。
- ・ 他の公共施設の収支、稼働率はどうなっているのか、ホームページで提示すべきであり、その上で議論すべきだ。
- ・ いつまで何をするのかのスケジュール、縮小はなぜ必要か、縮小してどうやって男女共同参画推進するのかきちんと答えるまで断固反対し続ける。
- ・ 市民に納得できるように説明することが先決だ。
- ・ 再度説明会の開催、市民意見の公表を求める。面積半分の図面も示さず意見を求めるやり方は、市民を馬鹿にしている。
- ・ 管理運営費用見直しといういかにも正しそうな理由だが、エル・ソーラ仙台を縮小しよう、拠点をなくそうということだ。仙台市の態度に疑問をもった。
- ・ 意見募集の締切りが短すぎる。説明会を知らなかった人がたくさんいる。
- ・ 性急な見直しは反対、もっと市民と話し合いながら進めるべきだ。事業の必要性を認識するのであれば、きちんと説明すべきだ。
- ・ 縮小案への意見を募集する以前に、どうしたら経費切詰めや収入アップができるか市民に意見を求めるべきだ。
- ・ はじめから1フロア削減、1億円削減ありきで、機能維持はできないことは明らかなため図面も示せない。時間をかけて再度説明願う。
- ・ 「エル・パーク仙台は、当面、現状維持」とあるが、なぜ「当面」なのか、市長選後にまたエル・パーク仙台的廃止計画を考えるのか。エル・パーク仙台もエル・ソーラ仙台も市民の財産、きちんと評価してほしい。
- ・ 市民に公募アイデアを求めればいいのか。
- ・ 工夫して乗り切るための協力を市民に求めるべきだ。
- ・ いい加減な見直し案で市民を騙すのはやめてほしい。
- ・ もっと市民と意見交換を。
- ・ 市民交流スペース利用者は年間17万人にもなるが、資料にその数字(利用実績)を載せていないのはなぜか。
- ・ 両センターが果たしてきた役割やDVなどの新しい需要にも触れられておらず、これでは市民が誤解する。行財政改革スケジュールや他の施設についても説明してほしい。
- ・ 市の説明は不十分だ。
- ・ 市の外部の意見をよく聞き、納得がいくよう説明責任を果たしてほしい。

- ・ 説明会の質疑をホームページで公開し、再度説明会を開催してほしい。今後のスケジュールを明確にしてほしい。
- ・ 提案は、施設本来の存在意義、本質に関わる問題であり、それを管理運営費の見直しとしてごまかそうとしている。
- ・ 市民にもっときちんとして説明すべきだ。
- ・ 説明会で多くの問題点と矛盾が指摘された。女性や市民の目線に立った問題提起ではない。
- ・ 説明会で多くの問題点と矛盾が指摘された。女性や市民の目線に立った問題提起ではない。
- ・ 青写真がなく机上の論理としか見えない。納得の行く回答がない。
- ・ 縮小ありきで具体性がない。利用の需要をどうこなすのか、利用者として不安だ。
- ・ 説明会で多くの問題点と矛盾が指摘された。女性や市民の目線に立った問題提起ではない。
- ・ キッズコーナー利用人数が資料に示されていない。
- ・ 説明会で多くの問題点と矛盾が指摘された。女性や市民の目線に立った問題提起ではない。
- ・ 不安の解消と効率的運営が共存できる第3のアイデアを市民と共に考えてはどうか。
- ・ 唐突な提案で、市民活動サポートセンターへの移行も現実的ではない。
- ・ 説明会で多くの問題点と矛盾が指摘された。女性や市民の目線に立った問題提起ではない。
- ・ 説明会で多くの問題点と矛盾が指摘された。女性や市民の目線に立った問題提起ではない。
- ・ 説明会で多くの問題点と矛盾が指摘された。女性や市民の目線に立った問題提起ではない。
- ・ 中身の充実にか力をいれるべきで、そのため市民アイデアを募ってほしい。
- ・ 説明会が平日で勤め人が参加困難。パブリックコメントの締切りも十分な時間がない。これでは最初から意見を聞こうとしていないと解釈する。既に結論があるのだと。
- ・ 説明会で納得した話は聞けなかった。日ごろ仙台のために行動し考えている人たちの声（説明会での意見）をじっくり聞いて十分考えてほしい。
- ・ なぜエル・ソーラ仙台が縮小の対象となるのかの根拠が明らかでない。短時間で結論を出すことに反対。
- ・ 説明資料の表題を「エル・ソーラ仙台の規模縮小について」とすべき。大義名分が先に立って、施設の重要性がわからない。机上の空論だから図面を出さないのか。
- ・ 行財政改革の全体計画、暮らしに直結するどんな施設が廃止縮小予定で、なぜエル・ソーラ仙台なのか、十分に説明してほしい。
- ・ もっと利用者に説明してほしい。
- ・ 利用者の数すら説明資料に載せていない、不信感が募る。
- ・ 市は、蔵書計画と達成状況、今後力を入れる分野などを示した説明資料を作成すべきだ。
- ・ 具体の図面もなく説明にならない。
- ・ なぜ今エル・ソーラ仙台が縮小なのかきちんとして答えてほしい。
- ・ 29階フリースペースの利用者17万人の数が資料に出ていないのはおかしい。エル・パーク仙台の市民活動スペースの利用者数もない。
- ・ アエル入居の経過や、市から市に賃料が支払われていたことなどを説明すべきだ。
- ・ こうした意見募集は広報紙などでより多くの市民に聞くべきだ。
- ・ 説明会での意見がどれだけ上(市長)に届くのか不安だ。審議会では会長が説明会のことを質問したのに対して市側の不適切な表現があったと思うし、説明会で職員の態度が真摯でないと感じた。
- ・ ホームページ掲載と突然決めた説明会を2回だけでは、市民への説明が少ない。
- ・ 行財政改革といわれれば市民は納得する。税金を納める市民の心理をつくものだ。

- ・ 半分にできる理由，半分の面積で機能が維持できることを，図面を示して説明すべき。1億円削減ありきの説明。説明会では同じ回答の繰り返しだった。局長，市長は正確な市民の意見を知らないということか。
- ・ 説明会で市側に参加者の話を聞く意思が感じられなかった。説明会はアリバイなのか。納得の行く説明を。
- ・ スケジュールや図面もなく意見を求めるのは市民を愚弄している。
- ・ きちんとした広報のない説明会。意見募集期間が年末年始のうえ，短い。
- ・ 女性が力をつけることを苦々しく思っていると誤解されないため，時間がかかっても市民と対話を続けてほしい。
- ・ アエル入居の経過を説明してから意見募集をしてほしい。
- ・ 市の説明は不十分で肝心なことが記されていない。
- ・ 結論ありきで意見を広く集約検討というものでない。年末の忙しい時期に急ぎょ実施し，資料を読むだけの説明だった。市民活動サポートセンターの収容能力や活動状態等親身な指導がほしかった。
- ・ 意見や質問に対する市側の対応は決まった言葉の繰り返しで誠意が感じられない。
- ・ 初めから縮小を決めているようで市民の声を聞くことは形式にすぎないと受け止めた。具体的な図面もなく年末に2回説明会をもった意図は何か。2月議会で決定とは市民の声を無視するものだ。議会にかける前に，説明会を開き，市民意見を報告してほしい。
- ・ 説明会では説明不足だった。意見を聞きしっかり検討してほしい。パブリックコメントは全部公開してほしい。
- ・ 素晴らしい施設を発展させようという意欲が感じられない。財政は苦しいが男女共同参画にがんばるといふことなのか，男女共同参画を犠牲にして1億円をひねり出して他のことに回すのか，どちらなのか。
- ・ 説明資料は，正面から市民に問うものでない。説明会では反対意見の多さと市民の怒りの表明に驚いた。
- ・ 説明会での市の対応は縮小ありきで憤りを感じる。施設の位置づけや活動の活発化について市民と話し合う時間を取ってほしい。現状の活動を拡大するような案を市民参画で出し合うべき。
- ・ 説明会での市の対応は縮小ありきで憤りを感じる。施設の位置づけや活動の活発化について市民と話し合う時間を取ってほしい。現状の活動を拡大するような案を市民参画で出し合うべき。
- ・ 説明会では1億円削減の根拠はないと思った。不信感を持った。有能な市民のアイデアを募集すべき。
- ・ どの程度まで規模を縮小するのか，どれくらい費用が浮くのか，情報を公開してほしい。
- ・ 意見募集をしていることを市民に公表しないのはおかしい。
- ・ もっと説明会を開き，市民の意見を聞いてほしい。募集意見は全てホームページで公開してほしい。
- ・ 青写真を説明会で示し，そこから意見を集約し時間をかけて見直すべき。市民意見集約後に図面を作成，費用計算と考えると2月議会は無理。1月中に青写真が出てくるとすればできすぎだ。
- ・ 予算を減らしても男女共同参画事業を維持するというしっかりした説明があればよいが，抽象的で，知恵を絞った様子がない。
- ・ 順番として，評価を公開して市民意見を聞き，改善策を出してから見直しに入るのではないのか。
- ・ 資料には「機能の維持に配慮」とあるが，同時に，機能と規模を縮小することが提示されている。
- ・ 検証後に市民意見の募集をすべきだ。
- ・ 予算を減らしても男女共同参画事業を維持するというしっかりした説明があればよいが，抽象的で，

知恵を絞った様子がない。

- ・ 利用者には十分な説明をすべきだ。
- ・ 一部の市民のために、現状で運営し続けることはよくない。
- ・ 説明会での意見は市民の大多数を反映しているとは思えない。
- ・ 意見聴取では、一部の利害関係者、既得権益保持の立場からの意見がクローズアップされ、市民一般の意見からかけ離れたものになりやすい。
- ・ 施設を使ったことがない市民が大部分で、関心がない。一部の利害関係者が、今より不便になるから反対している。

(4) その他(6件)

- ・ 仙台市民は男女、障害者、弱者、表面に出られない人々も皆平等だ。
- ・ 市民活動サポートセンター、男女共同参画推進センターどちらも設置条例があるはずだが、簡単に機能を移転できるものなのか。
- ・ 男女共同参画推進審議会で、男女共同参画推進センター見直しを報告事項にしたのは議論を避けるためなのか。
- ・ 消費生活センターを移転し、141の6階を買収又は賃貸すれば、1館で間に合うと思う。
- ・ 消費生活センターの場所を活用し、改修を加えればエル・パークに統合できる。
- ・ 利便性もよく助かる。厳しい市の財政も納税者としてわかる。市民活動の場の確保と財政と、大変だが良く考えて適切な運営を。